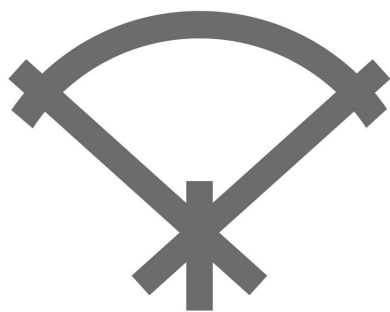




令和6年度第12回 いずみさの検定 テキスト

市政・自然・歴史・文化・産業・観光・行政全般・雑学など、泉佐野市に関する内容を出題

試験会場：エブノ泉の森ホール2階
レセプションホール・大会議室
(泉佐野市市場東1丁目2-1)

試験日時：令和6年11月4日(月・振替休日)

試験申込：令和6年10月1日(火)～10月18日(金)

受付窓口：泉佐野市 文化財保護課
(泉佐野市元町4-5 旧朝日湯内)
泉佐野市 まちの活性課
(泉佐野市上町3丁目11-48)

第12回 いずみさの検定テキスト（令和6年度）

目次及び各級の出題範囲について

※3級の問題は、第1章（1ページから23ページ）のテキストから出題します。

1・2級の問題は、3級の範囲を含めてテキストの全範囲から出題します（下表参照）。

分 野	出題範囲	
	1・2級	3級
第1章 いずみさの検定3級 出題範囲		
～ 泉佐野市についての100問 ～	●	●
第2章 地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり(活力・賑わい)		
第1節 観光	●	
第2節 国際化	●	
第3節 産業	●	
第4節 雇用・労働	●	
第3章 ひとを豊かに育むまちづくり(子育て・教育)		
第1節 子ども・子育て	●	
第2節 学校教育	●	
第3節 生涯学習・スポーツ	●	
第4章 市民と協働し、すべてのひとが輝けるまちづくり(自律・協働・多様性)		
第1節 地域共助・地域コミュニティ	●	
第2節 人権・多文化共生	●	
第5章 すこやかで、ひとがつながり支え合うまちづくり(支え合い・福祉・健康)		
第1節 地域福祉	●	
第2節 高齢者福祉	●	
第3節 健康・医療	●	
第6章 安全でひとと環境にやさしいまちづくり(安全・防災・環境)		
第1節 消防・防災	●	
第2節 環境衛生・環境保全	●	
第7章 快適で住みやすいまちづくり(快適・憩い・生活基盤)		
第1節 道路・交通	●	
第2節 公園・緑地	●	
第3節 上下水道	●	
第4節 住宅	●	
第5節 市街地整備	●	
第8章 総合計画の実現に向けて		
第1節 挑戦的な自治体経営	●	
第2節 財政基盤の確立	●	
第3節 その他	●	

第1章 いずみさの検定3級 出題範囲

～ 泉佐野市についての100問 ～

(1～29. 市政)

1. 市歌

市歌は、昭和38年（1963）に、市制施行15周年を記念して定められ、作詞は、本市出身の番匠谷英一さん^{ばんしょうやえいいち}、作曲は、昭和期の国民的歌手である藤山一郎さん^{ふじやまいちろう}です。

歌詞は1番から4番まであります。

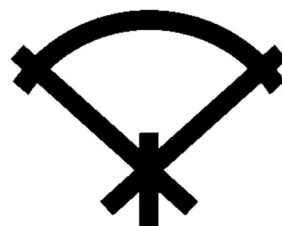
【歌詞1番】

「 泉佐野 繁栄の市 興隆の 日本の息吹 日に月に 産業おこり
たくましく 勤労たたえ たからかに 未来を歌う 繁栄の市 泉佐野 」

2. 市章

市章は、昭和23年（1948）4月1日の市制施行に際して、新生・泉佐野市にふさわしい図柄を広く市民に募り、採用された右図の作品を市章として決めました。

「サノ」の文字が末広型に図案化され、未来への無限の可能性を秘めた市の躍進する姿を簡単、明確なデザインで表現しています。



3. 市の花

昭和51年（1976）5月22日、「ささゆり」が市の花に制定されました。

市域の山間部に自生するユリ科の一種で、毎年6月初旬に花を咲かせます。

色は清楚な白、又は愛らしい淡紅色で、ほのかな香りが人々に愛されています。

4. 市の木

昭和51年（1976）5月22日、樹齢の長い落葉高木で、葉の扇形が市章に似ていることから、「いちよう」が市の木に制定されました。

秋になると葉は美しい黄色に色づき、種子はギンナンと呼ばれ賞味されています。

5. 市の鳥

平成30年（2018）4月1日、市制施行70周年を記念して、「ルリビタキ」が市の鳥に制定されました。オスは体の上面が美しい瑠璃色^{るりいろ}、メスは灰褐色^{はいかつしよく}の羽毛で覆われています。クチバシの下から腹部・足にかけてはオス・メスともに白く、横腹に黄色の模様が入っています。

6. 人口（令和2年（2020）国勢調査確定値）

国勢調査は、5年ごとに行われる国の主要な統計調査で、人口や世帯の実態を把握するために実施されます。令和2年（2020）10月1日を基準日とした国勢調査での本市の人口は確定値が100,131人でした。これは、住民票に関係なく本市に常住している人口となります。なお、世帯数は43,864世帯でした。

7. 本籍人口

戸籍は、人の出生から死亡に至るまでの親族関係を登録公証するもので、日本国民について編製される制度です。本籍とは、戸籍を置いている場所のことをいい、本籍人口とは現在戸籍に在籍する人の総数をいいます。本市の令和5年（2023）12月末現在の本籍数は38,586戸、本籍人口は91,942人です。

8. 有権者数

本市の令和6年（2024）3月末現在の人口は約99,100人でしたが、そのうち有権者数は約82,900人で、その内訳は、男性が約39,300人、女性が約43,600人でした。有権者は、住民基本台帳を基に調査し、毎年3月、6月、9月、12月及び選挙時に選挙人名簿に登録されます。

なお、選挙権年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げる改正公職選挙法が成立し、国政選挙では平成28年（2016）7月の参議院議員通常選挙から、18、19歳も投票できるようになりました。このことにより、本市では約2,300名の有権者が増えました。

9. 高齢化率

本市の高齢化率（全人口に対する65歳以上の割合）は、令和6年（2024）4月末現在で26.3パーセントとなっており、人口の4人に1人が65歳以上となりました。

高齢者の数は年々増加傾向にあり、高齢化率も上昇を続けています。

10. 住民1人当たり公園・緑地等面積と公園の数

「泉佐野市緑の基本計画」による平成30年（2018）5月末現在の本市の都市公園等の住民1人当たりの敷地面積は8.11平方メートルでした。

また、令和6年（2024）3月末現在の市内の公園（施設緑地）は、233カ所（96.30ヘクタール）あり、市街地の中心部に位置するマンデー未広公園、風致地区内にある檀波羅公園、泉佐野南部公園及びりんくうタウンのシンボルとなる府営りんくう公園などがあります。

11. 泉佐野市「今年の漢字」

本市では、令和2年（2020）から、新年互礼会においてその年の目標を「今年の漢字」一文字に表し、書道家が大きな筆を使って豪快にその漢字を披露しております。

令和6年（2024）1月の新年互礼会は中止となりましたが、「今年の漢字」を市役所正面玄関に掲示し披露しました。今年開港30周年を迎える関西国際空港から世界各地に「翔（は）ばたき」、コロナ禍で停滞していた国際交流を改めて深めていくという願いを込めて「翔」としました。また現在、米メジャリーグで大活躍中の大谷翔平選手にもあやかっています。

12. 都市宣言

本市では、これまでに交通安全都市宣言、暴力排除都市宣言、青少年を守る都市宣言、人権擁護都市宣言、非核平和都市宣言、健康都市宣言、国際都市宣言、スポーツ都市宣言、歴史文化遺産都市宣言の9件の都市宣言を行っています。

13. スポーツ都市宣言

平成30年（2018）3月22日、本市は、生涯にわたりスポーツに親しむとともに、スポーツを通して交流し、市民一人ひとりが生き生きと暮らすことができ、笑顔と活力あふれる泉佐野市を築くため、スポーツ都市宣言を行いました。

なお、都市宣言の銘板は、市役所玄関前に設置されています。

14. 歴史文化遺産都市宣言

本市の歴史文化遺産は、市内全域に及び、それぞれが密接につながり、現在まで伝えられてきました。本市では、古代から近代にかけて、茅渟ちぬの海から和泉山脈に至るまで、時間的にも、空間的にも歴史文化遺産が連なりを見せています。それら地域の歴史文化の将来像・夢を文化視点から表現するとともに、市がそれに対して積極的に取り組むことを内外に示すため、令和4年（2022）4月20日に「歴史文化遺産都市宣言」を行いました。

15. 本市で施行されている条例

本市で施行されている条例は、令和6年（2024）4月1日現在で261件あります。

その中で、いちばん古い条例は、「泉佐野市役所の位置を定める条例（昭和23年泉佐野市条例第26号）」で、昭和23年（1948）3月24日に公布されています。

16. 泉佐野市こども基本条例

泉佐野市の18歳未満のこどもの人口は年々減少傾向にあり、こどもを取り巻く社会問題へ対応するため、国の法整備に伴い、様々なこどもへの支援を実施していますが、こどもに関する課題は依然として解決しきれていないのが現状です。

現状こどもの育ちに関して極めて重要であるこどもの権利の尊重と、その侵害を重要な問題として捉える中、「こども基本法」の理念に即し、権利の主体であるこどもの権利が尊重され、家庭や学校等の学びの場、地域社会で自分らしく安心して暮らすことができるよう「こどもの権利が最大限尊重され、地域の支え合いのなかで豊かに成長できる、子育てのまち いずみさの」の実現を目指し「泉佐野市こども基本条例」を令和6年（2024）1月1日に制定し、こども施策を推進します。

17. 泉佐野市手話言語条例

泉佐野市手話言語条例は、手話が言語であるとの認識に基づき、手話への理解の促進及び手話の普及に関する基本理念を定め、市の責務並びに市民及び事業者の役割を明らかにするとともに、手話に関する施策の基本的事項を定めることにより、障害の有無に関わらず、全ての市民がともに認め合い、支え合う地域共生社会を実現することを目的として、泉佐野市議会令和4年12月定例会で可決・成立しました。

18. 環境美化推進条例の規定

「泉佐野市環境美化推進条例」では、市内全域の公共地におけるポイ捨てなど（たばこの吸い殻、ペットのふんの放置を含む）、及び禁止区域（南海泉佐野駅前及びJR日根野駅前）での路上喫煙を禁止しています。

19. 職員数

令和6年（2024）4月1日現在の本市職員数は629人でした。

部門別では、一般行政職413人、福祉職78人、技能・労務職10人、税務職39人、教育職27人、上下水道企業職員34人、看護師・保健師18人、医療技術職9人、特定任期付職員1人でした。

20. 税収入の大阪府内における順位

令和4年度（2022）決算における本市の税収入は、関西国際空港関連の安定した固定資産税収入が多いことなどが影響して、住民1人当たりに換算した大阪府内の市町村（大阪市・堺市除く）41団体の平均となる約154,000円を上回る約198,000円で、府内では、第3位となる高い税収入となっています。なお、府内の市町村のうち第1位は田尻町で約446,000円です。

21. 税収のうち市税の占める割合

令和4年度（2022）一般会計決算における本市の歳入総額は約762億円、市税収入額は約195億円で、歳入総額の約26パーセントを占めました。

22. 普通税の税収額

市税には普通税と目的税があり、普通税は、税金の使いみちに制限がなく、一般の経費として、どんな事業にも使える税です。

個人市民税は、毎年1月1日現在において、市内に住所のある人及び市内に住所はないが事務所、事業所又は家屋敷などがある人に課される税です。

法人市民税は、市内に事務所、事業所又は寮などがある法人等に課される税です。

固定資産税は毎年1月1日現在に、市内に固定資産（土地、家屋、償却資産）を所有している人に課される税です。その他の普通税として、軽自動車税、市たばこ税、空港連絡橋利用税（法定外普通税）があります。

令和4年度（2022）決算では、普通税は約180億円で、内訳は、個人市民税が約50億円、法人市民税が約13億円、固定資産税が約102億円、軽自動車税が約3億円、市たばこ税が約9億円、空港連絡橋利用税が約3億円でした。

23. ふるさと納税（ふるさと応援寄附金）

「ふるさと納税」制度とは、自治体に寄附をすると、自己負担額を除く全額が、所得税及び個人住民税から控除される仕組みで、寄附先のまちに納税するのと同じ効果があります。

本市では、1,000円以上の寄附のお礼として、3,000種類以上の返礼品を揃え、令和5年度（2023）には、寄附額累計が前人未踏の1,300億円を突破、日本一の寄附額を達成しました。

24. 議会の議決に付すべき契約

泉佐野市では、予定価格1億5,000万円以上の工事又は製造の請負の契約を締結する場合や予定価格2,000万円以上の不動産若しくは動産の買入れを行う場合には、議会の議決に付する必要があります。これらの要件は、本市の「議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分についての条例」で定められています。

25. 新庁舎の整備

現庁舎の問題点の解決を図るため、また近年、頻発する大規模自然災害に迅速に対応できる機能を備えるため、7階建ての新庁舎（仮称：みらい安心センター）の建設を、令和9年度（2027）の完成を目指して計画しています。

26. パスポート申請・受付業務開始日

本市では、平成30年（2018）10月1日から、市民課窓口において、パスポート申請・受取ができるようになりました。

申請できる人は、① 日本国籍を有し、本市に住民登録がある人。② 日本国籍を有し、他区市町村に住民登録があるが、本市に居所があり、それを証明できる人（居所申請）となっています。

27. 市議会の定例会

「議会定例会招集についての条例」において、定例会は毎年4回と規定されており、「議会定例会招集規則」により、毎年3月、6月、9月及び12月に招集するとされています。

なお、地方自治法第101条第1項において、普通地方公共団体の議会は、普通地方公共団体の長が招集することが規定されています。

28. 市議会の常任委員会

「泉佐野市議会委員会条例」に基づき、市議会には総務産業委員会（9人）と厚生文教委員会（9人）の常任委員会が設置されています。

同条例第2条には、常任委員会の名称、定数及び所管のほか、市議会議員は、少なくとも一つの常任委員会に属することが規定されており、それぞれ所管事項について調査、研究、審査等を行います。

29. 行政視察の受入れ

全国自治体で、さまざまな事務・事業が行われていますが、議会関係者が先進的な事例を持つ自治体を訪問視察し、自身の自治体行政に活かす「行政視察」が行われています。泉佐野市には令和5年度（2023）、全国24の自治体から149名の議会関係者が視察に訪れました。視察内容は「ふるさと納税について」「市内小中学校体育館への空調（LPガスGHP）設置について」「こども朝食堂について」などがあります。視察の受け入れ状況は、泉佐野市議会のホームページに掲載しています。

(30～41. 観光・プロモーション)

30. PR大使

現在、本市のPR大使は、和楽器デュオ「音ノ羽 -otonoha-」のおたにかなこさん、大谷加奈子さんおたにかなこ さかうえあきらと坂上享さんきようどうなんしゅう、講談師の旭堂南舟さん、Youtuberのマルコスさんふるや、鉄道タレントの古谷あつみさんばんじょうや さ え、シンガーソングライターの番匠谷紗衣さんの6人となります。

31. 「イヌナキン」を生みだした漫画家

平成24年（2012）11月に、本市のイメージキャラクターのデザインを公募したところ、全国各地から444の作品が寄せられました。

そのうち採用された3作品を参考に、人気漫画作家ゆでたまご先生が生みだした、本市のイメージキャラクター「イヌナキン」（現在は公式キャラクター）が誕生しました。

32. 「イヌナキン」のプロフィール

年齢は20歳、犬鳴山の義犬伝説主人公の末裔で、超自然的な力を得るために犬鳴山で修業中
です。山中での修行に欠かせない錫杖は、犬鳴山で修行中の山伏からもらったものです。

また温泉好きのため、本市特産の泉州タオルを常に腰に巻いています。

好きな食べ物は、水ナス・タマネギ・キャベツ・ガッチョの唐揚げ。口癖は「一生犬鳴」で、一生懸命に本市をPRし、一生、犬鳴山を愛するという意味が込められています。

33. LINE 公式アカウント

令和2年（2020）10月から、LINE 公式アカウントの運用を開始しました。

LINE アプリをダウンロードして友だち登録すると、泉佐野市からイベントや市政に関する情報のほか、防災情報などの緊急情報を受信できます。また、市のホームページや手続き検索サイトなどへも簡単にアクセスできます。

令和6年（2024）4月現在、友だち登録は約13,500人です。

34. 公式Instagram

令和5年（2023）12月より、市域への国内外からの更なる誘客を目的として、街並みや自然・歴史・伝統・食文化といった市の魅力を写真や動画等で発信するため、Instagramの公式ページを開設しました。

「#izumisanopics」をつけて投稿いただいた泉佐野市内の写真の一部を、公式Instagramでリポストさせていただいています。

35. エブノ泉の森ホール

エブノ泉の森ホールには、大ホール（1,376席）、小ホール（457席）、レセプションホール（321平方メートル）、マルチスペース（211平方メートル）などの施設があります。

36. りんくう公園の開発

空港連絡道の北側のりんくう公園敷地 10.4 ヘクタールに、都市公園りんくうアイスパークと関空アイスアリーナ、あさひ賃貸 りんくうステージ、ドッグラン、インクルーシブ遊具のほか、^{エイチ アイ エス} H.I.S.ホテルホールディングスが建設した「変なホテル」や温浴施設アクアイグニスもあります。

37. まち処^{どころ}

本市ではインバウンド観光客に対するおもてなしと地域内観光消費額向上を図るために、泉佐野駅山側商店街に観光おもてなしプラザ「泉佐野 まち処^{どころ}」とりんくうパピリオ内に観光交流プラザ「りんくう まち処^{どころ}」を開店しました。こちらでは、本市の特産品や地場製品の販売を行っています。

38. 泉佐野地域ポイント「さのぼ」

平成 29 年（2017）10 月 1 日から、泉佐野地域ポイント「さのぼ」の運用がスタートしましたが、市内の加盟店で買い物をしたり、市主催の事業等に参加すると、ポイントが貯まり、そのポイントを使用して、加盟店で買い物ができるようになりました。
入会金・年会費は無料で、市内の加盟店で 110 円（税込）の買い物ごとに 1 ポイントが貯まり、1 ポイント 1 円として加盟店での支払いに使えます。また、ポイントの有効期限は最長 3 年であるため、余裕を持って貯めることができます。

39. 婚活支援事業

本市では、結婚・子育て世代が将来にわたる展望を描けるよう、令和 6 年（2024）に「泉佐野市公式婚活支援事業（さの恋）」を開始し、結婚を希望する独身男女が出会いの機会に恵まれるよう環境整備に努めております。

40. 市内で一番広い公園

本市が管理している一番広い公園はマンデー末広公園で、面積は 8.9 ヘクタールです。
市街地の中心部に位置し、グラウンドには夜間も使用できるようにナイター照明が設置されています。なお、この公園は、災害時の広域避難場所にもなっており、防災備蓄倉庫や耐震性貯水槽なども設置されています。
ちなみに、市内で一番広い公園は、大阪府が管理するりんくう公園で、面積は 15.8 ヘクタールです。

41. いずみさのコミュニティバス、いずみさの観光周遊バス

いずみさのコミュニティバスは、平成13年度（2001）から運行を開始し、現在は北回り・中回り・南回り・田尻回りの4コースで、それぞれ月曜日から金曜日は1日8便、土曜日は1日4便運行しています。

また、泉佐野市の魅力をもっと知っていただくために、市内の観光スポットや商業施設を巡る「観光周遊バス」2コースを、日曜日・祝日に1日5便ずつ運行しています。

バスは、いずれも、高齢者や子どもが乗り降りしやすい低床車タイプの小型バスで、車椅子のまま乗り降りできる車椅子乗降用スロープを備えており、どなたも運賃は無料でご利用いただけます。

（42～56. 歴史・文化 ）

42. レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさの

레이크アルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさのは、本市の代表的な歴史遺産である日根荘ひねのしょうを紹介する博物館として、平成8年（1996）に開館、平成28年（2016）4月1日から、指定管理者として公益財団法人大阪府文化財センターが管理運営をしています。

日根荘以外ひねのしょうの本市の歴史・文化財についても特別展・企画展を開催し、地域の魅力を発信しています。

また、日本遺産「旅引付たびひきつけと二枚の絵図が伝えるまち－中世日根荘ひねのしょうの風景－」の令和元年度（2019）認定を受け、令和2年度（2020）中に当館の一部に日本遺産の認定ストーリーを解説する「日本遺産ガイダンスセンター」の機能を有する啓発コーナーを設置しました。

43. 指定文化財の件数と貴重な重要文化的景観

市内には数多くの文化財が所在しています。

なかでも国宝や国史跡など、国・府・市が法律や条例などで指定・選定し、保護している文化財は、65件あります。特に、大木地区おおぎの重要文化的景観は大阪府では本市のみです。

44. 3つの日本遺産の認定

日本遺産とは、日本各地の歴史的な魅力や特色など、日本が世界に誇る文化や伝統を語るストーリーを単独自治体又は複数の自治体が設定し、そのストーリーを文化庁が認定するもので、令和2年度（2020）を最後に全国で104件が認定されています。

令和元年度（2019）には、本市の「^{たびひきつけ}旅引付と二枚の絵図が伝えるまち－^{ひねのしょう}中世日根荘の風景－」が、単独自治体として、大阪府内で初めて地域型の日本遺産に認定されました。また、令和2年度（2020）には複数の市町村内にまたがってストーリーが展開する広域型（シリアル型）として2つの認定を受け、3つの日本遺産のあるまちとなりました。3つの日本遺産のある自治体は全国でも13市しかなく、市内の構成文化財の数（54個）は、令和6年（2024）7月末現在、全国1位となっています。

45. 日本遺産^{きたまえぶね}北前船

令和2年度（2020）には、「荒波を越えた男たちの夢が^{つむ}紡いだ異空間 ～^{きたまえぶね}北前船寄港地・船主集落～」に本市も追加認定されました。「^{きたまえぶね}北前船寄港地・船主集落」である佐野浦（佐野町場）が、江戸時代、豪商^{めし の からかね け}食野・唐金家の船主集落として、多数の^{きたまえぶね}北前船で大坂・瀬戸内から日本海側を東北・北海道方面まで^{いずみのくに}交易し、和泉国随一の港として栄えた歴史的背景が地域に色濃く残されています。

46. 日本遺産^{かつらぎしゅげん}葛城修験

令和2年度（2020）には、『^{かつらぎしゅげん}「葛城修験」－^{さとびと}里人とともに守り伝える^{しゅげんどう}修験道はじまりの地』が、認定されました。和歌山県、大阪府、奈良県の境にそびえる葛城の峰々。修験道の開祖となる役行者^{えんのぎょうじゃ}がはじめて修行を積んだこの地には、法華経を1品ずつ埋納したという28の経塚があり、今も修験者たちはその経塚や縁の寺社、巨石を巡ります。泉佐野では、^{かつらぎ}葛城二十八宿の復元に尽力した^{いぬなきさん}犬鳴山（七宝瀧寺）、^{しゅげんどう}火走神社、^{かつらぎ}奥家住宅などが構成文化財として認定されました。

47. 重要文化的景観

豊かな自然環境と中世荘園に由来する土地利用のあり方が評価され、平成25年（2013）に大阪府で初めて重要文化的景観「^{ひねのしょうおおぎ}日根荘大木の農村景観」が選定されました。

^{おおぎ}大木地区を貫流する^{かし い がわ}樫井川、^{ひがしのいけ}東ノ池周辺の農地などが、景観を構成する重要な構成要素として設定されています。

令和6年（2024）3月現在、重要文化的景観は全国で72件選定されています。

48. 世界かんがい施設遺産

国の史跡に指定されている井川^{ゆかわ}は、約 800 年前から存在するかんがい用水路で、上流を流れる榎井川^{かし い がわ}から取水し、全長約 2.9km、最後はため池の十二谷池^{じゅうにだにいけ}へと流れ込みます。

現在でも日根野地区の主要な水路として、広範囲にわたるかんがい用排水路として利用されており、令和 4 年（2022）10 月に世界かんがい施設遺産に登録されました。

また、毎年 7 月に水のめぐみに感謝し、五社音頭を奉納する「ゆ祭り」が日根神社^{ひ ね}において執り行われています。

49. 日根荘大木の里コスモス園

重要文化的景観に選定されている大木地区^{おお き}では、平成 27 年度（2015）から大木まちづくり協議会^{おお き}が中心となって、地域の美しい景観を守るために、耕作放棄地を活用し、日根荘大木の里^{ひ ね の}コスモス園を開園しています。昨年は 6,107 人の入場者で賑わいました。今年度も 10 月上旬の開園に向けて活動しています。

50. 犬鳴山の開山

犬鳴山^{いぬなきさん}は修験道^{しゅげんどう}の有名な霊場であり、大和の大峰山^{やまと おおみねさん}より 6 年前、すなわち斉明天皇 7 年（661）に役行者^{えんのぎょうじゃ}によって開山^{かいざん}されました。

全国でも有数の行者^{ぎょうじゃ}の修行の場となっており、行者の滝^{ぎょうじゃ}では、滝に打たれる修験者^{しゅげんじゃ}の姿が見られますが、特に犬鳴山は女人大峰^{いぬなきさん}とも言われ、女性の行者^{ぎょうじゃ}の姿が見られます。

51. 土丸・雨山城跡

土丸^{つちまる}・雨山城跡^{あめやまじょうあと}は和泉山脈の前山、城ノ山^{じょうのやま}（本市）と雨山^{あめやま}（熊取町）の 2 つの山頂付近に築かれた中世の山城^{やまじろ}で、平成 25 年（2013）に国史跡日根荘遺跡^{ひ ね の}の追加指定を受けました。紀州と和泉を結ぶ交通の要衝に位置するため、南北朝時代には南朝方からの橋本正督^{はしもとまさたか}と北朝方の日根野氏^{ひ ね の}の争奪が繰り広げられました。

52. 衣通姫伝説と茅渟宮

『日本書紀』の允恭紀^{いんぎょう き}には、允恭天皇^{いんぎょう}の正室を姉に持つ衣通姫^{そとおりひめ}が、天皇の寵愛^{ちようあい}を受けることで、姉の嫉妬^{しっと}を買うことを恐れ、都から離れた場所に住みたいと天皇に懇願します。

その懇願を受けて作られたのが茅渟宮^{ちぬのみや}で、衣通姫^{そとおりひめ}の住居として伝えられていますが、現在は上之郷中村^{かみ の ごう}にある公園内に江戸時代に岸和田藩^{か び}が建てた歌碑が残されています。

天皇は衣通姫^{そとおりひめ}に逢うため、たびたび日根野^{ひ ね の}に遊獵^{ゆうりよう}したとも伝えられています。

53. 新井家住宅と大阪万博

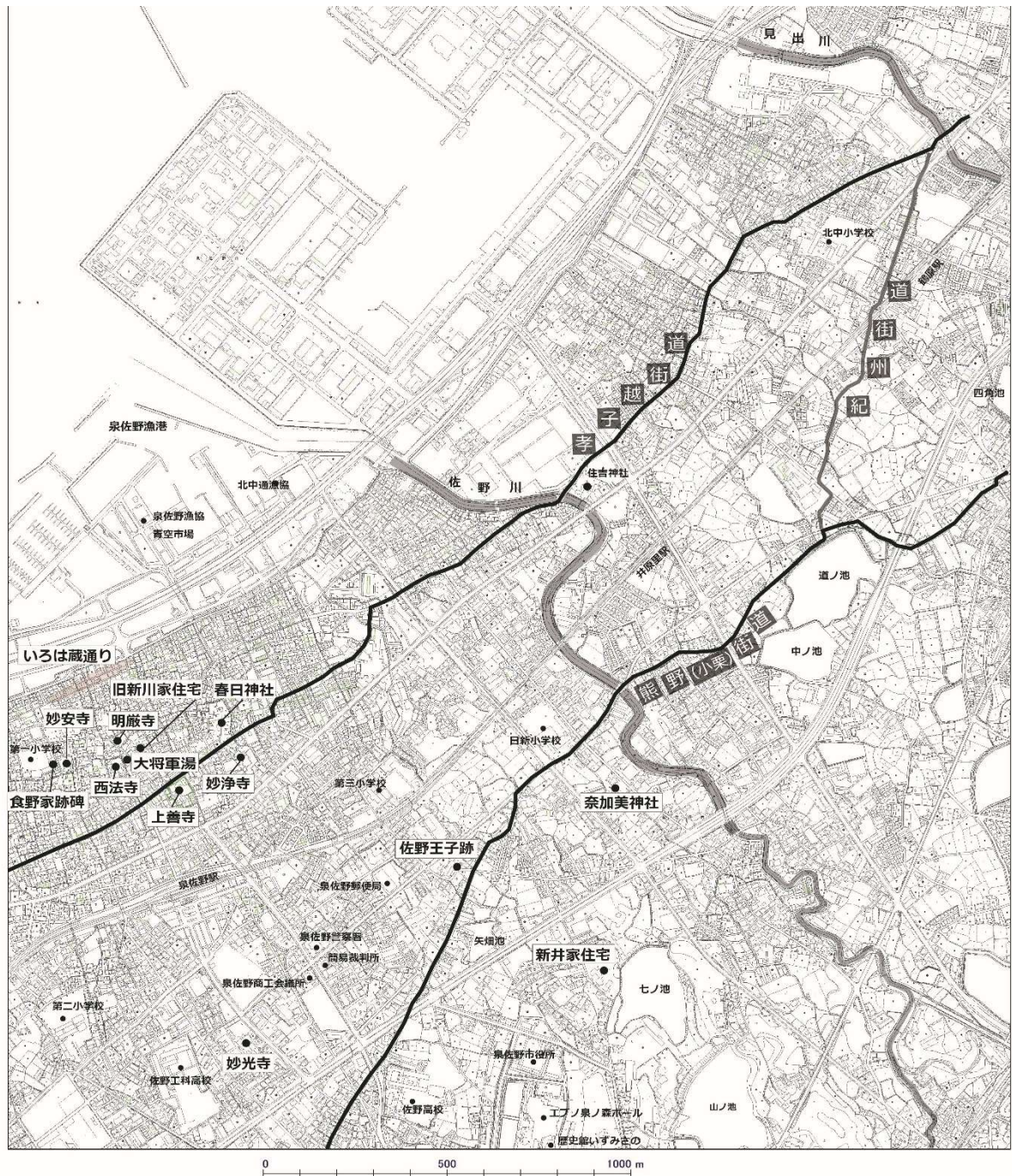
本市中庄にある新井家住宅は、昭和7年（1932）北浜において事業を成功させた新井末吉が自宅兼迎賓館として建てたもので、国の登録有形文化財に登録されています。新井家は中庄新川家の一族であり、当初は「にいい」と呼びました。新井家住宅を訪れた人々の中には第30代内閣総理大臣である斎藤実 もいます。なお、3代目の新井真一は日本万国博覧会（70年大阪万博）の初代事務総長を務め、万博のシンボルである太陽の塔を制作した岡本太郎に直接依頼した人物として知られています。

54. 日本遺産「日根荘」構成文化財の追加

令和6年（2024）6月、日本遺産「日根荘」の構成文化財が新たに二つ追加されました。一つ目の「船岡山」は、岡本の船岡神社境内にある単独峰で、神宮皇后の伝説が残ります。また、かつて日根神社の御旅所があり、戦前まではまくら祭りの神輿渡御がありました。二つ目の「葛葉井の淵」は、長滝にある遊水池で、古来より長滝の水田を潤しています。日根荘に滞在した九条政基が筆写した「七宝瀧寺縁起」には葛葉井の淵の由緒が記されており、また地元には「長滝」の地名の由来となった犬鳴山にまつわる伝説が残っています。

55. 市内を通る旧街道

市内には、京都から和歌山の熊野へ向かう「熊野街道」、大阪から和歌山へ海沿いに向かう「紀州街道」、紀州街道から別れ海沿いを和歌山へ向かう「孝子越街道」などが通っています。
 熊野街道と紀州街道は市内で合流し、南中樫井から泉南市へ続きます。



56. 泉州南埋蔵文化財行政広域連携事業

令和4年（2022）4月1日から、埋蔵文化財発掘調査業務の広域連携事業として、泉佐野市・泉南市・阪南市・田尻町の三市一町による協定を締結し、泉南市・阪南市・田尻町が泉佐野市に事務委託する形式で、三市一町の埋蔵文化財行政に関する事業を開始しました。事業開始に伴い、関西空港自動車道の高架下にある文化財保護課分室が泉州南埋蔵文化財行政広域連携事業の事務所となりました。

（57～68. 産業・特産・地域振興）

57. 特産品相互取扱協定

本市と全国各地の自治体が、それぞれの特産品について、相互に情報発信や販売促進等に寄与することを目的に締結する本市独自の協定を特産品相互取扱協定と言います。

令和6年（2024）3月31日現在の協定締結団体数は、44都道府県の48団体です。

58. 泉佐野^{もん}産商品化プロジェクト

本市の代表的な農産物である「泉州水なす」の加工品としては、「じゃこごうこ」や「水なすの漬物」などがありますが、地場産品のブランド化と6次産業化の促進を目指して、平成27年度（2015）から泉佐野^{もん}産商品化プロジェクトが始まりました。

59. 大阪工コ農産物

大阪工コ農産物とは農薬や化学肥料の使用量を通常の半分以上で栽培した農作物のことを指します。令和5年（2023）12月時点での大阪府の調査によれば、本市は令和4年度（2022）において大阪工コ農産物の申請件数が449件、申請人数が105人といずれも大阪府下3位の数値を誇っています。主な作物としては、令和5年（2023）実績として、ブロッコリーが538.46aで最も広く、次いで春菊が504.10aとなっております。

60. タマネギの収穫量

冬作物のタマネギは、泉州地域を中心に大阪府内各地で生産されています。

令和2年（2020）の作物統計によると、府内全体のタマネギの収穫量は3,630トン、そのうち約半分の1,850トンが市内で収穫されており、府内では順位は第1位です。

第2位は泉南市で751トンとなっております。

61. 冬キャベツの収穫量

泉州のキャベツは冬キャベツが主体で、「松波^{まつなみ}」という品種の栽培が中心となっています。

この松波^{まつなみ}キャベツは、非常に甘みがあるため、生でもおいしく食べられます。

市内の冬キャベツの収穫量は、令和2年（2020）の作物統計で、愛知県の田原市^{たはら}、豊橋市^{とよはし}、千葉県銚子市^{ちようし}、神奈川県横須賀市^{よこすか}、三浦市^{みうら}、熊本県八代市^{やつしろ}に次いで、全国第7位の5,700トンでした。

もちろん大阪府内では第1位でした。

62. 農産物直売所「こーたり〜な」

ＪＡ大阪泉州が農業振興と地域の活性化を目的として、平成15年（2003）に農産物直売所「こーたり〜な」を仮オープン、平成16年（2004）に本格オープンさせました。

開業以来、市内で生産された新鮮野菜や農作加工品を中心に、四季折々の旬のものを購入できると大好評です。

63. 泉州名物のワタリガニ

ワタリガニは和名でガザミといいます。

ワタリガニは遊泳力が強く、時には生活場所を大きく変えることからその名がついています。

本市と泉佐野漁業協同組合では、ワタリガニが産卵する5月から6月ごろに、獲れたワタリガニの中で、抱卵しているものを再度放流して、資源の維持を図っています。

また漁法は、板びき網や石げた網といった底びき網や、刺網を使用しています。

64. 泉州名物の泉だこ^{いずみ}

泉州沖周辺は、エビやカニなどのエサが豊富なうえ、潮の流れが緩やかなことから、ふっくらと風味豊かで歯ごたえがあるのに身が柔らかいタコが育ちます。

このタコのことを総称して「泉だこ^{いずみ}」と呼んでいます。

平成22年（2010）には、“泉州沖で獲れたマダコを大阪府内で加工したゆでダコ”として、「泉だこ^{いずみ}」が地域団体商標として登録されました。タコとしての登録は全国初です。

65. 特産品

本市の特産品としては、繊維産業では特に泉州タオルがあげられます。またそれに関連するシャトル製造も盛んです。工業製品では、他に綿製品やワイヤーロープ、自転車のスポークなども生産しています。他には、大正12年（1923）の創業以来、天然ゴムを素材に生産されている輪ゴム「オーバンド」の工場が、市内にあります。

66. 泉州タオルの工法

泉州タオルの製造工程では、タオルを織り上げた後に、^{さら}晒しを行っています。
 この後^{あとざら}晒し工法によって作られたタオルは、一般のタオルよりも繊維の吸水性や通気性が優れており、肌ざわりが良く、汚れや糸くずもなく清潔です。

67. 人工林面積

市域の林業は、^{かわち}河内林業の流れをくみ、^{かわち}河内林業は奈良の吉野林業の流れをくんでいます。その歴史は古く、今から100年以上前に植林された木々が^{おおぎ}大木地区の山奥で生育しています。
 市域の人工林面積は約883ヘクタールあり、現在も間伐などを行うことで、森林の適切な管理、保全を図っています。

68. いずみさのマッチボックス

いずみさのマッチボックスは、面接・履歴書不要、1日単位・数時間で働きたい人と企業をつなげる泉佐野市公式の雇用マッチングアプリです。
 このサービスでは、子育てや介護中の方、本業がありつつも、もっと働きたい方など、固定のお仕事は難しい方も、1日単位で求人に応募でき、スキマ時間を利用して働くことができます。

(69～97. 教育・くらし・防災)

69. 市立小学校の児童数

本市の市立小学校の児童数は、令和5年（2023）5月1日現在で4,585人です。
 児童数が一番多い小学校は^{ひねの}日根野小学校で797人、児童数が一番少ない小学校は^{おおぎ}大木小学校の37人です。

70. 市立小中学校屋内運動場等の災害避難所

小中学校の屋内運動場等は、災害時の避難所となるため、本市では、避難所内の環境改善を図るとともに、猛暑時の生徒の健康対策を行うため、避難所開設頻度の高いものから順に令和元年度（2019）から3カ年かけて、市立小中学校の屋内運動場と武道場に空調設備を設置しました。
 令和元年度（2019）に設置された小学校は^{ひねの}日新小、^{おおぎ}北中小、^{かみのごう}大木小、^{かみのごう}上之郷小の4校、中学校は、第三中、長南中の2校です。令和2年度（2020）に設置された小学校は第三小、^{ひねの}日根野小、^{すえひろ}末広小、^{すえひろ}佐野台小の4校、中学校は、佐野中、新池中の2校です。令和3年度（2021）に設置された小学校は第一小、第二小、長坂小、長南小、中央小の5校、中学校は、^{ひねの}日根野中の1校です。

71. 小・中学校給食に必要な調理数

市立小学校（13校）の学校給食は学校給食センターで、市立中学校（5校）の学校給食は中学校給食センターで、それぞれ調理されています。

令和6年（2024）7月1日現在で、学校給食センターでは、全校児童と小学校給食関係者の約5,100食の給食を約3時間で調理し、中学校給食センターでは、全校生徒と中学校給食関係者の約2,400食の給食を約2時間で調理しています。

72. 特認校

一般的に公立小中学校では、教育委員会が通学区域を定め、児童生徒が通学する学校を指定します。

一方、特認校制度では、従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、特認校での教育活動に賛同する方に対して就学を認めています。

本市では、現在、大木小学校、佐野台小学校、第三小学校が特認校となっています。

73. 佐野中学校 夜間学級

佐野中学校夜間学級は令和6年（2024）5月8日に開級しました。

中学校の夜間学級では、いろいろな事情で中学校を卒業していない人や実質的に十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した人が、夕方から夜の時間帯に中学校で学習をします。

日常生活に必要な基礎的な学力や知識を身につけるとともに、中学校の卒業資格を取ることができます。

74. 成人式の平均参加率

令和2年（2020）は対象者1,204人のうち参加者781人、参加率64.9%、令和3年（2021）は対象者1,225人のうち参加者810人、参加率66.1%、令和4年（2022）は対象者1,181人のうち参加者は820人、参加率69.4%、令和5年（2023）は対象者1,175人のうち参加者は785人、参加率は66.8%、令和6年（2024）は対象者1,038人のうち参加者は718人、参加率69.2%でした。令和2年（2020）～令和6年（2024）の5年間の平均参加率は67.3%となっております。毎年多くの方のご参加いただいております。

75. 泉佐野市民健康マラソン

本市では、毎年11月第3日曜日に、泉佐野市民健康マラソンを実施しております。
令和5年度（2023）に開催された第31回泉佐野市民健康マラソンでは、245名のランナーに参加していただきました。

オープン種目では、就学前のお子様も参加できるファミリーの部があります。
ファミリーの部は、就学前のお子様とその保護者が走ることができ、開会式終了後にスタートします。

76. 地域子育て支援センターの愛称

どんなところでも力強く自生する「つくし」をイメージして、「どんなところでも子育ての輪をつくり、広げていこう！」との願いを込めて、鶴原^{つるはら}に地域子育て支援センターを設置し、愛称を「つくしんぼ」としました。

また、「しっかりとその地に根付いたたんぽぽのわたぼうし、飛んで次の地に根をはるように、育ち合い・支え合いの種が根付いて地域に広がりますように…」そんな思いを込めて、日根野^{ひねの}に地域子育て支援センター分館を設置し、愛称を「わたぼうし」としました。

加えて、令和6年（2024）4月より、「子ども・保護者^{みなみな}みんなに陽がさすように」との思いを込めて、南中樫井^{みなみな}に地域子育て支援センターを設置（事業委託）し、愛称を「ひなたぼっこ」としました。

77. こども家庭課（こども未来センター）の設置について

妊娠・出産・育児などそれぞれの段階に応じた切れ目のない支援と子育て世代に対する包括的な支援を行うため、子育て支援課が所管していた家庭児童相談業務と健康推進課が所管していた母子保健業務などを統合し、令和6年（2024）4月1日付でこども家庭課（こども未来センター）を設置しました。

78. いずみさの女性センターが開設された年

昭和54年（1979）に国際連合が「女子差別撤廃条約」を採択し、昭和60年（1985）にわが国がこれを批准。翌昭和61年（1986）には「男女雇用機会均等法」が施行されるなど、国際的な男女平等の機運が高まる中で、本市では、平成元年（1989）に当時の企画課に女性政策担当を設置し、その後、平成9年（1997）5月16日に、男女共同参画社会実現の拠点施設として、いずみさの女性センターを設置しました。

79. 泉佐野市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度

本市では、すべての市民の尊厳や多様性が尊重され、誰もが自分らしく安心して生活している地域社会の実現に向け、令和6年（2024）1月1日から泉佐野市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を導入しました。この制度は、法律上の婚姻関係ではありませんが、一方又は双方が性的少数者である二人が同居し、共同生活においてお互いを人生のパートナーとし、家族として対等な立場で責任をもって協力することを約束した関係にあること。また、パートナーである二人および同居する未成年の子または親が、家族として生活する関係にあることを市に宣誓し、市がその宣誓を証明する制度です。

80. 介護予防の取組み

本市では、平成28年度（2016）よりカラオケ機器を利用した音楽介護予防教室を開催しています。

その愛称は「泉佐野元気塾」です。対象者は介護保険の被保険者、参加費は無料、開催場所は町会館や自治会館等市内56カ所となっています。

そのほかの介護予防の取組として、「地域健康教室」や「姿勢特化型リハビリウォーキング（健康寿命ウォーキング）」などもあります。

81. 泉佐野市メッセージノート

「自分らしく生きることが実現できる泉佐野」を目指して、元気なうちから自らが希望する医療・介護について考え、身近な人と話し合う際のツールとして活用していただくために、「泉佐野市メッセージノート～わたしの生き方ノート～」を作成しました。

市役所と市内5カ所の地域型包括支援センターと基幹型包括支援センター（1カ所）の窓口で配布しています。

82. 健康マイレージ事業

令和6年（2024）1月よりウォーキングなど健康づくりの習慣化を応援し、「さの健康ポイント」が貯まる「さのぽっ歩（健康マイレージ事業デジタル化）」が始まりました。この事業に参加するには、アプリ「スポーツタウンウォーカー」のダウンロードが必要になります。

歩く、血圧・体重測定、健（検）診受診、対象講座への参加で「さの健康ポイント」がたまり、「さのぽ」へ交換することができます。

ちなみに、「さのぽっ歩」というネーミングは、泉佐野地域ポイントカード「さのぽ」と歩く（歩いて健康になろう）という意味で「歩っ歩」を掛け合わせて名づけられました。

83. 健康増進事業

令和3年度（2021）の本市の死因別死亡では、1位：悪性新生物、2位：心疾患、3位：老衰、4位：脳血管疾患、5位：肺炎の順となっています。日ごろから減塩、喫煙、運動に気を付けて、早寝早起きを心がけて規則正しい生活に努めましょう。「笑う」ことでも免疫カアップが期待できます。

84. 国民健康保険における令和4年度（2022）特定健康診査の受診率

本市国民健康保険の特定健康診査（40歳以上が対象である生活習慣病の予防・早期対応を主目的とした健診）受診率は、制度開始の平成20年度（2008）が28.3パーセントで、令和4年度（2022）は33.4パーセントとなりました。

85. 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター

りんくう総合医療センターは平成23年（2011）4月1日に地方独立行政法人化されました。

地方独立行政法人には公的サービスをきちんと提供する役割が法律上位置付けられており、法人に移行しても「市立病院」としての役割は変わりません。災害医療、周産期医療、高度医療など市民にとって必要な医療を提供していきます。

86. 病院概要・沿革

りんくう総合医療センターは、昭和27年（1952）8月に、市立泉佐野病院として内科・外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科の6診療科、71床で開設し、平成9年（1997）10月にりんくうタウンに移転時には19診療科、358床となりました。そして、令和5年（2023）には、26診療科、388床の泉州南部唯一の基幹病院として、全国で4か所しかない特定感染症指定医療機関、泉州救命救急センターや泉州広域母子医療センター、災害拠点病院、大阪府がん拠点病院として高度急性期病院の役割を担っています。これらの実績が評価され、厚生労働省からDPC特定病院群（全国181病院、大阪府下19病院）に指定されました。

87. 消防団の分団数

本市消防団には、ひ ね の 日根野、ながたき 長滝、かみのごう 上之郷、みなみなか 南中、おおつち 大土の5分団があります。

また、特定の活動のみを行う機能別分団として女性分団、市役所分団があります。

ひ ね の 日根野、ながたき 長滝、かみのごう 上之郷、みなみなか 南中の各分団には、それぞれ1台ずつ消防車を配備していますが、おおつち 大土分団は、つちまる 土丸とおおぎ 大木にそれぞれ消防車を配備しています。

市役所分団にも平成30年度（2018）に消防車を配備しました。

88. 市民防災の日

市民一人ひとりが様々な災害についての防災意識を高め、災害に対する備えを強化し、安全で安心なまちづくりを推進するため、毎年11月の第1日曜日を「市民防災の日」としています。

被害を最小限に抑えるために、一人ひとりが災害時に適切な行動をとれるよう、日頃から準備をしましょう。

89. ため池ハザードマップ

ため池ハザードマップは、地震や大雨により、ため池が万一決壊した場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供する目的で作成されたものです。

ため池が決壊したときに、水が流れてくる範囲などの予測が示されているため、適切な避難場所や避難場所へのルートを事前に確認することができます。

90. マンホール蓋のデザイン

本市のマンホール蓋のデザインは、市章を中心に、市の木「イチョウ」の葉を配して、歴史のある豊かな自然の中で発展を続ける本市の将来を表現しています。また、大小16枚のイチョウの葉とギンナンは、実りある家庭生活と、教育活動の推進、市民福祉の向上を表現しています。

91. 下水道普及率

下水道普及率とは、人口のうちどれくらいの人が下水道を使えるようになったかを示す割合で、パーセントで表します。

令和6年（2024）3月末現在の本市の下水道普及率は、府内43市町村で最下位から2番目の42番目で、45.2パーセントでした。

92. マンホールトイレ

災害時における衛生的で快適なトイレ環境を整備するため、令和5年度（2023）にマンホールトイレを設置するための工事を実施しました。設置場所は、健康増進センターの西側に10基、末広公園の南側園路に18基です。見た目は、マンホール蓋が見えているだけですが、災害時にはマンホール蓋を開けて、上部にトイレを設置します。

93. 市営団地住宅の数（令和6年3月31日現在）

現在の市営団地住宅は、末広^{すえひろ}団地住宅・鶴原^{つるはら}団地住宅・下瓦屋^{しもかわらや}団地住宅・上田ヶ丘団地住宅・南中第一団地住宅・松原団地住宅の、合計6カ所あり、管理戸数は、合計888戸です。

94. 空家等対策の推進

本市では、平成 31 年（2019）3 月に「泉佐野市空家等対策計画」を策定し、令和 4 年度（2022）に一部改訂し、空家所有者への適正管理・利活用を働きかけや、空家等に関する除却補助制度活用、「特定空家」の指定、特定空家等に対する行政代執行（大阪府下 2 例目）を実施（令和 3 年度（2021））により、空き家対策を推進しています。

95. 鉄道駅舎のバリアフリー化

鉄道駅舎のバリアフリー化については、本市も鉄道事業者に対し、財源的支援を行っております。駅舎構外からプラットフォームまでのバリアフリー化が 1 ルート以上、完了している駅は、南海鶴原駅、井原里駅、泉佐野駅、羽倉崎駅、南海・JR りんくうタウン駅、南海・JR 関西国際空港駅、JR 日根野駅の 7 駅です。

96. 市立公民館

本市では、全 5 中学校区それぞれに市立公民館を設置することを目標としていましたが、令和元年度（2019）にその目標を達成しました。

5 つの公民館の名称は、レイクアルスタープラザ・カワサキ生涯学習センター（新池中学校区）、佐野公民館（佐野中学校区）、長南公民館（長南中学校区）、北部公民館（第三中学校区）、日根野公民館（日根野中学校区）です。このうち一番新しい公民館は日根野公民館で、平成 31 年（2019）4 月 2 日にオープンしました。また、各公民館には図書室が併設されています。

97. 移動図書館車

令和 4 年（2022）春に移動図書館車が新しくなりました。新しい移動図書館車は「泉佐野市の鳥」から『ルリビタキ』と命名されました。車には約 3,000 冊の本を積んで、市内の小学校や図書館施設から遠隔地など 30 か所を 3 週間周期で巡回し、貸出を行っています。貸出カードは市内の図書館施設と共通で利用が可能で、借りた場所以外でもご返却いただけます。

（98～100. 関西国際空港）

98. 関西国際空港関連税収

令和 4 年度（2022）の空港及びりんくうタウンの空港関連税収（固定資産税・都市計画税及び空港連絡橋利用税）は約 53 億円でした。ちなみに、関西国際空港ができてから空港関連税収が最も多かったときは 70 億円を超えていました。

99. 関西国際空港の開港日

関西国際空港は、平成6年（1994）9月4日に開港しました。

前日に大阪空港発の国際便の最終便としてグアム空港に降り立った航空機が、4日午前6時1分に、関西国際空港に到着する一番機として着陸しました。

また、関西国際空港は、令和6年（2024）に開港30周年を迎えます。開港30周年を記念して、様々な特別企画も予定されています。

100. 関西国際空港連絡橋

関西国際空港連絡橋は、関西国際空港島との唯一の陸上アクセスです。

長さは、3,750メートルあり、上段が道路、下段が鉄道の2層式になっています。道路は片側3車線、鉄道は複線化されていて、南海電鉄空港線とJR関西空港線が共用使用しています。

この連絡橋は、世界最長のトラス橋としても有名です（トラス橋：「三角形」の性質を利用した、軽くて丈夫な構造の橋のこと）。

※いずみさの検定3級の出題範囲はここまでです。

つぎの24ページから最後までは、1・2級の出題範囲となります。（1・2級の問題は、3級の出題範囲（1～23ページ）からも出題されます。）

第2章 地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり（活力・賑わい）

第1節 観光

観光1 観光産業の発展

101. 観光大使

本市の観光大使の家田^{いえだ}莊子^{しょうこ}さんは、代表作『^{ごくどう}極道の妻たち』をはじめ多数の作品を発表し、平成3年（1991）には『私を抱いてそしてキスして－エイズ患者とすごした1年の壮絶記録－』で、第22回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞されました。

また、本市出身で女優の麻生^{あそう}祐未^{ゆみ}さんも観光大使に就任いただいています。麻生さんは、映画『あいつとララバイ』でデビュー、テレビドラマでは、岸和田市出身のデザイナーの小篠^{あそう}綾子^{あやこ}さんをモデルとしたNHK朝の連続ドラマ『カーネーション』に出演されました。

更に、令和3年（2021）にお笑いコンビ「ドラنگドラゴン」の塚地^{つかじ}武雅^{むが}さんに新たに観光大使に就任いただきました。塚地さんは「大阪府立佐野高等学校」をご卒業され、現在はお笑いに加え、俳優などで幅広くご活躍されています。

102. PRポスター

全国に本市の魅力をPRし、知ってもらふことや、更なるイメージアップと誘客を図ることを目的に、本市の観光大使である女優の麻生^{あそう}祐未^{ゆみ}さんをモデルに起用したPRポスターを平成30年（2018）3月に作製しました。

このポスターは、誰もが立ち止まり、興味を持ってもらえるようなインパクトのある斬新なデザインとなっており、そのキャッチコピーは、郷土芸能の佐野踊りの「佐野くどき」に出てくる歌詞「そいちゃえ」から、「そいちゃえ泉佐野」としました。

これは、「そいつはいい泉佐野」という意味です。

103. 泉佐野市観光協会及び泉佐野市が実施しているレンタサイクル事業の名称

市内を自転車で巡っていただこうと、泉佐野市観光情報センターやJR・南海りんくうタウン駅近くのシーズラケットクラブにおいて、「さのちゃり」の愛称でレンタサイクル事業を実施しています。

また、令和3年（2021）より、本市と日本電気株式会社とで締結した連携協定に基づき、シェアサイクル「PiPPA^{ピッパ}」と観光情報をスマートフォンに配信する機能を組み合わせた実証実験を行い、令和5年（2023）から本格運用しています。市内に設置している専用駐輪ポートでは、いつでもどこでも貸出・返却が可能なため、市内周遊やちょっとしたお出かけにぴったりです。

104. 泉佐野市における滞在の促進及び受入環境の整備に関する条例

平成28年（2016）4月1日から、宿泊施設を設置する事業者に対して奨励措置を行うことで、観光旅客の宿泊施設を確保し、それに伴う雇用機会の創出及び地域経済の活性化を図ることを目的として、「泉佐野市における滞在の促進及び受入環境の整備に関する条例」、通称「おもてなし条例」を施行しており、令和6年（2024）3月末現在で、累計9施設に奨励金を交付しています。

105. 定住移住促進の助成

本市では、平成27年度（2015）から定住移住促進施策の一環として、住宅総合助成事業を実施しており、令和2年（2020）4月から、泉佐野地域ポイント「さのぼ」を一律25万ポイント付与しています。

106. 「広報いずみさの」の発行部数

本市では、市からのお知らせや講座・イベントの案内などを掲載した「広報いずみさの」を毎月1日に発行しています。

A4版の冊子形態で、令和6年（2024）4月号の発行部数は約37,500部でした。

町会などを通じて、市内の各世帯に配布されているほか、市内の各公共施設や金融機関などでも配架しており、平成25年（2013）6月号からは、市内の主要鉄道駅でも配架しています。

107. 「^ラ ^ブ ^リ ^ン ^ク ^ウ LOVE RINKU」の設置場所

平成30年（2018）4月、府営りんくう公園内に、モニュメント「^ラ ^ブ ^リ ^ン ^ク ^ウ LOVE RINKU」が設置され、令和元年（2019）10月には「恋人の聖地」（NPO法人地域活性化支援センターが運営する全国の観光地域の中からプロポーズにふさわしいロマンティックなスポット）に認定されました。モニュメントには、恋人はもちろん、家族や友人など大切な人たちとずっとつながっていただけるようにといった思いが込められており、りんくうまち^{どころ}で「^ラ ^ブ ^タ ^グ LOVE TAG」を購入し、好きな文字を印して、モニュメントに付けることができます。

108. ^ひ ^ね 日根神社で行われる「まくら祭り」

^ひ ^ね 日根神社は日本で唯一、枕・寝床を守護する全国でも珍しい枕の神社で、その本殿は、日本有数の規模を誇る春日造で、^{かすがづくり} 摂社の^{せっしゃ} 比売神社とあわせて大阪府指定文化財となっています。

毎年、5月の^ひ ^ね 日根神社例祭である「まくら祭り」は、のぼりに色とりどりの飾り枕をつけて村々を巡行する特色ある祭りです。

109. 泉州タオルの新ブランド

大阪タオル工業組合では、2025 年大阪・関西万博に向けて、世界的に認知されるブランドを目指して、令和 3 年（2021）に泉州タオルの新たなブランドを創設しました。和泉山脈から流れる豊富な水を資源とし、130 年以上前から作られている泉州タオルが目指すべきブランドイメージは、タオルづくりの源である水を想い、人々に長く愛される、暮らしに寄り添うタオルであることから、「水とともに生きる 泉州タオル」というブランドコンセプトとしています。

110. 泉佐野カレー

平成 31 年（2019）3 月に「泉佐野カレー」が完成し、現在は観光案内所の泉佐野まち^{どころ}、りんくうまち^{どころ}等で販売を行っています。

「泉佐野カレー」は、本市にゆかりのある食材として、市内唯一の造り酒屋である北庄司酒造店の酒粕をアクセントに使用し、ほのかな清酒の風味が感じられます。

111. あさひ賃貸 りんくうステージ

令和 3 年（2021）10 月にりんくうアイスパーク芝生広場内に日本の伝統芸能、音楽、その他芸術などの活動、市民交流を図ることを目的として「りんくう野外文化音楽堂」が設立されました。

令和 5 年（2023）10 月 1 日からは、ネーミングライツの取得により「あさひ賃貸 りんくうステージ」として、「カレーサミット」、「やきそば EXPO」をはじめ、様々なイベント等の開催場所として利用されています。

112. 全国物産フェア

本市と特産品相互取扱協定等を締結している自治体などが一堂に会する全国物産フェアが、「佐野踊り」や「五社音頭」をはじめとした市内の伝統芸能を披露する「泉佐野郷土芸能の集い」と同時に令和 5 年（2023）9 月 2 日にあさひ賃貸 りんくうステージにて開催されました。28 店舗が出店、約 3,500 人が来場し、賑わいました。

113. 泉佐野市市制施行 75 周年記念事業

泉佐野市の市制施行 75 周年を記念して、令和 5 年（2023）12 月 8 日～11 日に住之江^{すみのえ}ポートレース場にて「泉佐野市市制施行 75 周年・BTS りんくう開設 11 周年記念」競走を開催しました。また、当日は会場にて本市と特産品相互取扱協定等を締結している全国の特産品も販売し、会場を盛り上げました。

観光2 歴史文化の保存活用

114. 日根荘遺跡長福寺跡

大木地区にある長福寺跡は、日根荘の荘園領主である九条政基が住まいにした格式高い大寺院で政所でした。発掘調査によって、当時のお堂や池、住居などが発見されたことにより、平成17年（2005）に国史跡日根荘遺跡に追加指定されました。

また、平成29年（2017）3月実施の発掘調査では、境内を取り囲む築地塀の痕跡や屋根瓦、日用品などが見つかり、より詳細な寺の様子が明らかになりつつあります。

115. 日根荘遺跡長福寺跡を活用した農業体験

国史跡日根荘遺跡長福寺跡には昔ながらの田園風景が広がっており、重要文化的景観の選定を受けています。現在は周囲の景観になじむよう、大木まちづくり協議会の協力を得て、大木小学校の高学年の児童と一緒に手植えや手刈りで農業体験を行い、中世以来の伝統的な暮らしを伝え続けています。

116. 火走神社の重要文化財

火走神社は、大木地区に鎮座する神社で、平安時代中期の『延喜式』にその名前が見られます。またの名前を滝大明神、滝宮とも呼ばれ、日根荘の時代（1500年初め）には入山田村（今の大木地区・土丸地区）の総社でした。

摂社 幸神社本殿は、一間社春日造りで、室町時代後期の創建と考えられています。平成5年（1993）に国の重要文化財となり、令和元年（2019）12月に保存修理が完了しました。

117. 大木で雨乞いを行なった寺院

七宝瀧寺は、斉明天皇7年（661）に役行者によって開創されたと伝えられていますが、現在は真言宗犬鳴派大本山となっています。天長年間（830年ごろ）の早ばつの際、淳和天皇が山内の七つの瀧に祈雨したところ、雨が降ったとされています。戦国時代に書かれた『政基公旅引付』にも、七宝瀧寺で雨乞いが行われ、様々な芸能が披露されたと記されています。

118. 犬鳴山七宝瀧寺のご本尊

犬鳴山の七宝瀧寺のご本尊は、役行者自作の俱利伽羅大龍不動明王（秘仏）で、古来より、運気の守護、命乞い不動尊として幅広い人々の篤い信仰を集めていますが、その御姿は、秘剣に龍が巻き付いた形像となっています。

119. 榎井合戦

慶長20年・元和元年（1615）、豊臣方と徳川方の決戦となった大坂夏の陣の緒戦が榎井で起こりました。これが榎井合戦で、徳川方の紀伊の浅野軍と、豊臣方の軍勢が戦いました。合戦は豊臣方の敗北に終わり、塙団右衛門や淡輪重政（六郎兵衛）、坂田庄三郎らが討ち死にしましたが、これらの武将の墓が、今も南中榎井・岡本周辺にあります。

120. 旧新川家住宅

旧新川家住宅は、本町にある町家で醤油業を営んでいました。建てられたのは江戸時代の天明年間（1781～1789）と考えられています。「食い違い四間取り」「しころ葺き」などの特徴をそなえ、「ザシキ」には、江戸時代の湊出身の画家日根対山によって描かれた襖絵もあります。本市の指定文化財となり、現在はNPO法人泉州佐野にぎわい本舗を指定管理者として「泉佐野ふるさと町屋館」を公開活用されています。

121. 豪商食野家

食野家は江戸時代の佐野では随一の商人で、廻船業によって富を築き、大坂・江戸に屋敷・蔵・店を持ち、全国的な営業活動を行うほか、俵屋等の新田開発も行いました。食野家と唐金家・矢倉家は、佐野の有力な商家で、親戚であるため「食野一統」と呼ばれました。特に佐野町場は食野家の船主集落で、北海道・東北と大坂を結ぶ西廻り航路において北前船を操り、全国で活躍しました。今も食野家の蔵と伝わる「いろは蔵」が残っています。

122. 大將軍湯

江戸時代につくられた佐野町場（本町）に、戦前に建てられた「大將軍湯」（公衆浴場）が残っています。現在、営業は停止していますが、当時の古い銭湯の型式を残す貴重な遺構であり、町場の景観を構成する要素として、平成30年（2018）、国の登録有形文化財に登録されました。地域の交流の場として整備を進めていくため、クラウドファンディングによる寄付を募っています。

123. 陸軍明野飛行学校佐野分教所

陸軍明野飛行学校佐野分教所は、三重県にあった陸軍明野飛行学校の分校です。操縦士の養成が課題となった昭和17年（1942）に、葵町、中町周辺に長さ1,500メートル、幅60メートルの滑走路、格納庫、兵舎等が作られ、終戦の昭和20年（1945）まで使用されました。この時に蟻通神社は、現在の位置に移転することとなりました。

124. 熊野街道（小栗街道）^{おぐり}

熊野街道は、鎌倉時代に上皇や貴族が盛んに参詣した紀伊国（和歌山県）熊野三山へのルートです。市内では貝田町の四角池、第三中学校近くの道ノ池、上瓦屋、日新小学校の南、佐野高校前、市場町を経て南中安松、長南中学校前から南中樫井に至ります。

その道筋には王子社が祠られ、その数の多さから九十九王子と言われました。市内の王子のうち佐野王子は第三小学校の約300メートル南東に石碑があり、大阪府史跡となっています。

125. 日根対山^{ひねたいざん}

日根対山は、和泉国日根郡中庄村湊で生まれ、幕末に京都で活躍した南画家です。

対山の代表作である『桃華源図』は、孝明・明治・大正の3代の天皇に観覧されました。

レイクアルスタープラザ・カワサキ歴史館いずみさのでは、対山の作品を収集しています。

126. 森嶋忠夫^{もりしまただ お}

森嶋忠夫は、昭和に活躍した元町出身の洋画家です。

昭和9年（1934）に帝国美術展覧会に入選し、また昭和18年（1943）に佐野高等女学校（現府立佐野高等学校）の美術教員となり、浪速短期大学（現大阪芸術大学）などでも教鞭をとるなど、多くの後進の指導に当たりました。

127. 文化財保存活用地域計画

本市では、市内の歴史文化資源の総合的な把握を行うとともに、地域の中でこれらの歴史文化資源と周辺環境を一体的に保存や活用を進めていくためのアクションプランとして、令和2年度（2020）に文化財保存活用地域計画を作成し、令和3年（2021）7月に文化庁の認定を受けました。

128. 文化財保護課事務所の朝日湯移転^{もとまち}

江戸時代に作られた佐野町場（元町）にある朝日湯は、大正時代以前に建設された建物で、昭和初期より公衆浴場として長らく営業しており、阪神・淡路大震災の影響で廃業して以降も、建物は存続していました。

本市では佐野町場の再活性化の拠点として活用するために、令和4年（2022）11月より文化財保護課の事務所が旧朝日湯内に移転しました。なお、旧朝日湯は令和6年（2024）8月、国の登録有形文化財に登録されました。

129. 全国中世荘園サミット in 泉佐野

本市の国史跡日根荘遺跡^{ひねのしょう}の指定地である土丸・雨山城跡^{つちまる あめやまじょうあと}を中心に、中世城郭の魅力を伝えることを目的に、令和6年（2024）2月にエブノ泉の森ホールにて「全国中世荘園サミット in 泉佐野」が開催されました。サミットではテレビ番組で有名になったお城博士ちゃんこと栗原響大さん^{くりはらひびき}を迎え、中世山城をテーマに城郭研究者との対談を行いました。

130. 奈加美神社と北前船^{な か み きたまえぶね}

本市中庄に鎮座する奈加美神社^{な か み}は、元は大宮神社と呼ばれていましたが、明治時代の神社合祀により三ヶ郷（中庄・上瓦屋・湊）^{なかしょう かみかわらや みなと}の一字を取って奈加美神社に改称しました。本殿は天正5年（1577）に戦火に遭い焼失したものを、慶長15年（1610）に再建された三間社流造の極彩色で華麗な装飾で飾られたもので、大阪府の指定文化財となっています。また、令和5年（2023）5月に新たに開館した併設の奈加美文化館^{な か み}には、江戸時代、航海の安全を祈った船主「新屋」^{あたらしや}により奉納された弁財船^{べんざいせん}の模型が展示されており、日本遺産「北前船」^{きたまえぶね}の構成文化財となっています。

131. 加支多神社^{か し た}

本市鶴原に鎮座する加支多神社^{か し た}は、平安時代中期の『延喜式』^{えんぎしき}に記載のある由緒ある神社で、明治時代に現在の地に移転したものです。本殿や拝殿及び幣殿^{へいでん}は大正4年（1915）に建立されたもので、令和6年（2024）8月に国の登録有形文化財に登録されました。本殿付近にある神饌所^{しんせんじょ}は、本殿の修理時に御神体の移転先となる「権本殿」^{ごんほんでん}としての役割を持ち、こちらも同じく登録有形文化財に登録されています。

132. 泉佐野市デジタルアーカイブ

「デジタルアーカイブ」とは文書や文化資源などをデジタル化し、データとして保存・公開していくものです。本市では、公益財団法人図書館振興財団の助成を受けて、令和6年（2024）3月に「泉佐野市デジタルアーカイブ」を公開しました。

133. 関西北前船研究交流セミナー^{きたまえぶね}

本市では令和5年（2023）11月、関西圏の日本遺産「北前船」^{きたまえぶね}構成市町村との連携を深めるため、スターゲイトホテル関西エアポートにて「第4回関西北前船研究交流セミナー」^{きたまえぶね}が開催されました。セミナーでは北前船と深い関係を持つ食野家^{きたまえぶね}を中心に、食野家との関わりから「歴史のご縁が結ぶ地域産業活性化協力協定」^{えん}締結都市である秋田県にかほ市と連携し、研究者の基調講演や学芸員・行政関係者も含めた構成文化財の活用に関するトークセッションを行いました。

134. 泉佐野 PR 大使・旭堂南舟

令和6年(2024)5月、講談師の旭堂南舟さんが泉佐野 PR 大使に任命されました。旭堂南舟さんは東大阪市生まれ。平成20年(2008)5月に初舞台を務め、同23年(2011)4月から旭堂南舟講談会を始め、大阪府を中心に活動しています。本市との関わりでは、平成28年(2016)より本市での講談会を毎年開催、参加しており、また地元の人取材して本市に伝わる榎井合戦や豪商食野家の講談を作成するなど、本市の歴史を講談で広めていくことに大きく貢献しています。

第2章 第2節 国際化

国際化1 国際化の推進

135. 関西国際空港の第1ターミナル(T1)リノベーション

令和3年(2021)5月から着工している関西国際空港の第1ターミナル(T1)リノベーション工事は、フェーズ1からフェーズ4に分けて施工されています。スケジュールでは、最終のフェーズ4の完成が令和8年(2026)に予定しており、大阪・関西万博後となるものの、T1リノベーションの主目的であるキャパシティの向上などの主要機能は万博開催前には完了することで進められています。なお、フェーズ1で進められていた新国内線エリアの増築・改修が令和4年(2022)秋に完成し、またフェーズ2で進められていた新国際線出発エリアの新設などが令和5年(2023)冬に完成し、現在は国際線保安検査場エリアの増築などのフェーズ3に進んでいます。

136. 関西国際空港の外国人旅行者数

令和5年(2023)、訪日外国人旅行者数は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が回復傾向にあったことから、約2,507万人でした。(日本政府観光局調べ)

そのような中、関西国際空港の外国人旅客数は約1,301万人でした。(関西エアポート株式会社調べ)

137. 関西国際空港の現状

令和2年(2020)2月以降、関西国際空港は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大により、旅客便、とりわけ国際線の発着便数が大幅な減便となっていました。令和5年度(2023)については、過去最低を記録した令和2年度(2020)と比べて大幅に増加しており、加速度的な回復が見られます。なお、令和5年度(2023)の国際線の発着回数は12.1万回で前年度比114パーセントの増、国際線旅客数は1,906万人で271パーセントの増となりました。

138. 国際都市宣言

本市は、国際化に対応できるまちづくりを推進するため、平成29年（2017）3月23日に国際都市宣言を行いました。この宣言のもと、友好提携都市以外の海外都市（オーストラリア連邦・クイーンズランド州サンシャインコースト等）とも、友好交流を推進し、市民レベルでの国際交流活動の一層の推進を図っています。

139. 友好都市

本市は、関西国際空港の玄関都市として、世界各地の都市と友好関係にあり、様々な分野で交流を続けています。

令和6年（2024）7月31日現在、11都市と友好都市提携を締結しています。

アジアにおいては、中国国内の5都市（上海市徐匯区、上海市宝山区、四川省成都市新都区、山東省聊城市東阿県、山東省威海市）の他、モンゴル国トウブ県、ベトナム社会主義共和国ビンディン省、韓国大邱市寿城区（テグ市スソン区）と友好都市提携を締結しています。

その他、アフリカ大陸においてはウガンダ共和国グル市、北米大陸においてはアメリカ合衆国カリフォルニア州デイリーシティ、南米大陸においてはブラジル連邦共和国サンパウロ州マリリア市と友好都市提携を締結しています。

140. 新たな友好都市

中国重慶市出身の本市在住者の紹介で、重慶市武隆区との友好交流が始まりました。

令和5年（2023）、6年（2024）と続けて、本市より訪問団を派遣し、交流を深め、近い将来の正式な友好都市提携をめざしています。

国際化2 りんくうタウンを生かした国際化

141. りんくうタウンの町名

本市域のりんくうタウンには、「りんくう往来北」と「りんくう往来南」の2町があります。

ちなみに、田尻町域には「りんくうポート北」と「りんくうポート南」の2町があり、泉南市域には「りんくう南浜」の1町があります。

142. りんくうタウンのまち開き

りんくうタウンの象徴の1つであるりんくうゲートタワービルは、令和元年（2019）11月から「S i S りんくうタワー」に名称変更されましたが、このS i S りんくうタワーやりんくうパピリオ（駅構内の商業施設）は、平成8年（1996）9月にオープンし、りんくうタウンがまち開きしました。

第2章 第3節 産 業

産業1 農業振興

143. 泉州水ナスの発祥の地

ナスの原産地は、インド東部と言われていますが、奈良時代末期には日本に渡来し、各地で数多くの品種が育成されました。

「泉州水なす」も、泉州の気候風土や食習慣、生活実態に対応して育成されたもので、その発祥時期は江戸時代の初期、発祥の地は上之郷かみのごうと伝えられており、「日根野あずきに上之郷ひねのかみのごうなす」という言い伝えが残っています。

144. 泉佐野市のなすの収穫

本市では通年で水なすの栽培が盛んです。

なすの収穫量は、令和2年（2020）の作物統計によると、富田林市とんだばやしが、1,620 トンで府下第1位、泉佐野市はそれについて1,142 トンで第2位です。ただし、富田林市とんだばやしは、一般的ななすである「千両なすせんりょう」の産地であるため、水なすに限れば本市の収穫量は大阪府下で第1位となります。

なお、泉州水なすは地域ブランド商標として登録されています。

145. 伝統料理じゃこごうこ

「じゃこごうこ」は泉州地域に古くから伝わる伝統料理です。

各家庭で味付けや作り方は様々ですが、基本的には、縦に6つ程度に切って一晩水で塩出しした「水なすの古漬け」を、だしと醤油とみりんひとにたを一煮立ちさせた鍋で、新鮮な「じゃこえび」と生姜を一緒に煮込んで作ります。

146. 泉佐野市4 H クラブ

泉佐野市4 H クラブよんエイチとは、青年農業者で構成され、自主的な組織活動を行っている農業青年のクラブです。

4 H とは、農業の改良と生活の改善に役立つ腕（Hands）ハ ン スを磨き、科学的に考えることのできる頭（Head）ヘ ッ ドの訓練をし、誠実で友情に富む心（Heart）ハ ー トを培い、楽しく暮らし、元気で働くための健康（Health）ヘ ル スを増進するという、4つの信条の頭文字を総称したものです。

会員数は、令和6年（2024）4月現在12名で、定例勉強会や市内でのイベント開催など、積極的に活動を展開しています。

147. 稲倉池いなくら

稲倉池いなくらは、元々、約 128 万トンの貯水能力を持つ市内最大のため池でしたが、平成 11 年度（1999）の大阪府営工事により、30 万トン増の約 158 万トンの貯水量となりました。

なお、昭和 47 年（1972）から昭和 55 年（1980）にかけて実施された「用水合理化事業」は、稲倉池いなくらと大池の農業用水を合理的に運用することで余剰水を生み出し、都市用水として活用することを目的としたもので、当時としては画期的な事業でした。

148. 農業用水パイプラインの総延長

本市には農業用水パイプラインがあり、昭和 55 年度（1980）に終了した農業用水合理化対策事業で約 24,400 メートル、平成 11 年度（1999）に終了した府営かんがい排水事業かし（榎井川地区いがわ）で約 13,300 メートル、同じく平成 11 年度（1999）に終了したの府営水質保全対策事業（泉佐野地区）で 12,500 メートルの農業用パイプラインが、それぞれ整備されました。これらの合計は、約 50,200 メートルとなります。

149. 新滝の池しんたき いけ

新滝の池しんたき いけは平成 6 年度（1994）の大阪府の事業により新たに造られた上之郷地区かみの ごうの人工池で、50 万トンの貯水量を誇ります。この周辺は、農業用水確保という本来の機能により農業生産の安定化を図るとともに、ため池を農業用施設として活かしながらも、ゆとりの空間として市民に提供しています。堤防横には、当時の知事であった横山ノック氏よこやまの名前が刻まれた石碑があります。

150. アライグマ

アライグマは北アメリカ原産の野生動物で、日本では昭和 52 年（1977）にアライグマのアニメの放映をきっかけにペットとして輸入されましたが、繁殖力が旺盛なため飼いきれなくなって野外に放されたりしたアライグマが自然繁殖し、農作物や家屋進入などの被害が深刻化しています。本市でも、平成 16 年（2004）に初めて捕獲されて以降、平成 18 年（2006）には現在までの最高頭数である 115 頭が捕獲されました。また、令和 5 年（2023）には 72 頭が捕獲されました。

151. 畜産業

市内では、古くから畜産業が盛んに行われていました。近年の急激な都市化の進展等により、畜産農家の件数は減少してはいますが、現在も多数の家畜が飼育されています。

家畜飼養状況等の報告結果（大阪府）によると、市内では、令和 5 年（2023）2 月 1 日現在で、肥育豚と繁殖豚で合計 1,278 頭の豚、成鶏せいけいとひなを合わせて 11,168 羽の鶏、牛は乳牛のみで 36 頭が飼育されています。

産業2 森林保全

152. 林道

林道とは、林業を営むために開設された林業用施設で、大阪府により認定された道路です。市域の林道は、現在、合計 22 路線あり、総延長は 35,133 メートルあります。

一番長い路線は、^{おおぎ}大木地区の林道^{いぬなきとてがわ}犬鳴東手川線で 7,390 メートルあります。これは、昭和 26 年（1951）に林道^{いぬなき}犬鳴線として整備され、その後、平成 7 年（1995）に五本松地区で貝塚市の林道^{とてがわ}東手川線と接続して、現在の名称に改められました。

153. 国定公園

国定公園は、国立公園に準ずる優れた自然の風景地であって、環境大臣が指定するものです。

昭和 33 年（1958）に、大阪府と奈良県にまたがる^{いごま}金剛山地、^{いごま}生駒山地が「^{いぬなきさん}金剛生駒^{ふく}国定公園」として指定を受け、その後、平成 8 年（1996）10 月 2 日に、^{かつらぎ}犬鳴山を含む 875 ヘクタールの和泉^{いごま}葛城山系の森林が「^{いごま}金剛生駒^{いごま きせん}国定公園」と名称が改められ、環境省の指定を受けました。

産業3 漁業振興

154. 漁獲量

政府統計によると、岸和田市以南で、平成 30 年（2018）の漁獲量が最も多かった市町村は、イワシとイカナゴ漁が盛んな岸和田市で、漁獲量は 5,684 トンでした。

本市では、ワタリガニやシャコ漁が盛んで、漁獲量は 875 トンでした。

その他では、泉南市が 265 トン、阪南市が 375 トン、岬町が 603 トンでした。

155. 泉州名物のガッチョ

ガッチョとは、一般的にはネズミゴチと呼ばれる魚です。エサにがつく魚ということで、ガッチョと呼ばれています。ガッチョは泉州で古くから多く生息している魚で、主に底びき網漁業（石げた網）で獲れる魚です。骨までばりばり食べられるガッチョの唐揚げは、泉州名物のひとつです。

156. 漁業体験

平成 11 年度（1999）から、泉佐野漁業協同組合青年会の主催で、りんくうマールビーチにおいて、市内の小学生を対象とした地びき網による漁業体験事業が行われています。

この事業は、地びき網漁の実体験を通じて、また生きた魚に直接触れることにより、海や魚貝類への興味を促し、漁業への理解を深めていただくことを目的としています。

令和 5 年度（2023）までに、延べ 4,256 人が参加しました。

157. バッチ網漁

市内の北中^{きたなかどおり}通漁業協同組合では、古くから船びき網漁（通称：バッチ網漁）が行われています。この通称は、網がバッチ（ももひきの長くて足首^{とあみ}まであるもの）に似ていることからそう呼ばれており、2 隻の網船が魚群を抱え込むように投網し、平行に並んで網をひく漁法です。網の先は目の細かい袋状になっており、イカナゴシラスやイワシシラスを獲ります。

158. 赤貝ととり貝

泉佐野漁業協同組合では令和 6 年（2024）に「赤貝」と「とり貝」の新ブランドが商標登録されました。300g 以上の赤貝^{せんしゅう}が「泉州げんこつ赤貝^{あかがい}」、9cm 以上のとり貝^{せんしゅうきわ}が「泉州 極みとり貝^{がい}」と名付けられました。豊かな海と、漁師という仕事を引き継いでいきたいという思いが込められています。

産業 4 商工業振興

159. 本市の商店街

泉佐野市には、泉佐野市駅前商店街、駅上一番街^{えきうえいちばんがい}、駅上名店街^{えきうえめいてんがい}、春日通り商業会、上善寺前商店街^{じょうぜんじ}、新地^{しんち}商業会、鶴原駅通り商店会、日根野^{ひねの}商業会、本通り商店街の計 9 つの商店街があります。

第2章 第4節 雇用・労働

160. 資格取得支援助成事業（バウチャー事業）

本市では、就職困難者（※1）や就職氷河期世代（※2）等に該当し就労意欲のある方を対象に、医療事務講座や介護事務講座、パソコン検定講座など、就職に有利になる対象講座の中から希望する講座を選んで受講し、資格の取得を支援することで、次の就労につなげていただくことを目的として、資格取得支援助成事業（バウチャー事業）を実施しています。

なお、受講できるのは一人1講座1回限りで、受講料（上限額あり）以外のテキスト代・受験料は自己負担となります。

（※1）就職困難者とは

身体障害者、知的障害者、精神障害者、刑法等の規定により保護観察に付された方、社会的事情により就職が著しく阻害されている方

（※2）就職氷河期世代とは

昭和43年（1968）4月2日～昭和63年（1988）4月1日までの間に生まれた方

第3章 ひとを豊かに育むまちづくり（子育て・教育）

第1節 子ども・子育て

161. 市立こども園

「泉佐野市こども園構想」により幼保連携、幼保一体化を推進し、平成26年（2014）4月1日に、さくらこども園（さくら幼稚園、泉佐野保育所）、平成27年（2015）4月1日に、のぞみこども園（のぞみ幼稚園、北保育所）と、はるかこども園（はるか幼稚園、南保育所）が開園しました。

平成30年（2018）4月1日から、3園とも認定こども園に移行しています。

162. こども食堂

我が国で子どもの貧困問題が大きくクローズアップされる中、本市では子どもの健やかな成長を願い、子どもが安心して過ごすことができる居場所づくりとして、委託により1か所の「こども食堂」を開設しています。

また、住民が主体となってこども食堂を開設して頂いている地域もあることから、こども食堂を継続して運営して頂けるよう、活動推進を目的とした「泉佐野市こども食堂ネットワーク」を設置し、市民や団体等から寄せられた寄付物品の分配や運営者間の情報・意見交換などを行っています。

現在「泉佐野市こども食堂ネットワーク」に参画している運営団体は、市が委託している運営団体1か所を含め、11か所あります。

163. 児童発達支援センター（にじいろの木）

泉佐野市立児童発達支援センターは、本市にお住いの通所利用の障害児やその家族に対する支援を行うほか、地域の障害児やその家族への相談、障害児を預かる施設への援助・助言を合わせて行うなど、地域の中核的な療育施設で、児童福祉法に規定する施設です。

子どもたち一人一人の個性を大切にし、人との関わりや、いろんな経験の中で心の根っこを太らせ、心も身体も大きく育っていけることを願って、「にじいろの木」という愛称をつけました。

164. 子どもフリーダイヤルについて

子どもフリーダイヤルは、「困ったな」「いじめにあった」など、本市在住の満18歳未満のお子さんのことであれば、何でも相談を受付けています。相談は、匿名でも可能で、子ども自身や家族以外の方でも相談できます。受付時間は、月曜日から金曜日で、午前8時45分～午後5時15分です。

165. 留守家庭児童会

泉佐野市留守家庭児童会は、保護者の代わりに留守家庭児童に対して、適切な遊び場及び生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることを目的として、全ての泉佐野市立小学校で開設しています。

また、平成27年度（2015）からは運営業務について、民間事業者に委託しています。

166. プレイパーク

プレイパークは、子どもたちが自由な発想で思いきり遊ぶことを大切にした遊び場で、泉佐野子育てネットワーク「三輪車」と共催で、年2回、春と秋に開催しています。（雨天中止）ジュニアリーダーや暮らしの応援隊などボランティアスタッフの協力を得て、充実した遊び場を提供しています。会場はダンバラ公園で、木工、工作、段ボール遊び、シャボン玉、竹馬、コマまわし、絵本の読み聞かせ等のほか、子どもたちがのびのびと遊べるように、極力禁止事項をなくして、自主性や冒険心を育みながら楽しい一日を過ごしています。

第3章 第2節 学校教育**学校教育1 義務教育の充実**

167. 市立小中学校の教職員数

令和5年（2023）5月1日現在の市立小中学校の教職員数は556人です。

ここ数年、毎年、約20人の新規採用教職員が配属されていますが、令和5年度（2023）は小学校に16人、中学校に11人の新規採用教職員が配属されました。

168. 教育委員会の委員数

本市では、「教育委員会委員定数条例」の規定により、教育委員の定数は6人となっています。

169. 学校グラウンド夜間照明

市民の生涯スポーツの振興を目的として、学校教育に支障のない範囲で施設開放の拡大を図るため、令和2年度（2020）より中学校のグラウンドに夜間照明を設置しています。令和6年（2024）5月1日現在、4中学校に設置しており、令和2年度（2020）に佐野中学校、令和3年度（2021）に新池中学校、令和4年度（2022）に第三中学校、令和5年度（2023）に長南中学校に設置しました。

170. 学校照明LED化

2050年温室効果ガス排出量ゼロの実現および学習時の高照度化のため、小中学校の電気のLED化を進めています。

本市では令和3年度（2021）からLEDのリースを進め、令和5年度（2023）中に100%となりました。

171. 夏季休業日の短縮・土曜授業の実施

市立小中学校では、各校の教育課程がゆとりをもって実施されるよう、平成27年度（2015）から夏季休業日を1週間短縮しています。

また、土曜授業は、平成28年度（2016）から、7月・8月・12月・3月を除き、原則毎月第4土曜日に実施しており、保護者や地域の力を活かした教育活動による連携をより一層深めています。

172. 塾代等助成

本市では、子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、子どもたちの学力や学習意欲、個性や才能を伸ばす機会を提供するため、又、不登校の児童生徒の学びの場の確保のため、一定の所得要件を設け、市内在住の小学5年生から中学3年生を対象に学習塾、文化・スポーツ教室等やフリースクールの学校外教育にかかる費用を月額5,000円上限に助成しています。

学校教育 2 学校給食の充実

173. 中学校給食の学期目標

中学校給食では、学期毎の目標を設定しています。

令和6年度（2024）の1学期目標は「マナーを守ろう」、2学期目標は「感謝の気持ちをもとう」、3学期目標は「給食を通してコミュニケーションを深めよう」です。

174. 学校給食センターのキャラクター名前

学校給食センター及び中学校給食センターから各小・中学校への献立表に記載されているキャラクターの名前はコックベアーと言います。

また、学校給食を配送する配送車にも描かれています。



175. 学校給食におけるオーガニック食材

本市の学校給食では、4月より、小学校給食では週に2回、中学校給食では週1回オーガニックの国産小麦粉を使用したパンを提供しています。

第3章 第3節 生涯学習・スポーツ

生涯学習・スポーツ 1 生涯学習の推進

176. 人間市宝表彰

泉佐野市人間市宝表彰は、伝統芸能、伝統工芸や地場産業などにおいて歴史的、文化的若しくは芸術的な価値を有し、その伝統的な技法の継承または高度かつ専門的な研究や新技術を開発し、その技術をもって地域産業の活性化が図られ、その技量は、当該分野の第一人者として高く評価されており、本市にゆかりがあるなどの人物が受賞されます。平成30年（2018）11月15日に創作和紙人形作家の山中セツ子やまなか こさんが初めて受賞され、2人目は、詩吟・関心流かんしんりゅう家元の藤井宗齋ふじい そうさいさんが令和2年（2020）10月8日に受賞されました。

177. 縁^{えんじょい}JOY大学

本市では毎年、おおむね 55 歳以上の市内在住者を対象に、連続学習会を開講しています。受講生同志が交流を深め、楽しく豊かに学ぶという意味を込め「縁^{えんじょい}JOY大学」と命名し、健康や生活に関するものから歴史、文学、芸術など多岐に渡る内容で、各分野専門の講師による講義や、音楽鑑賞などを行っています。令和5年度（2023）は9回の学習会と社会見学を1回実施し、のべ 932 人の方に受講いただきました。

178. 泉佐野フォトコンテスト

泉佐野市の様々な魅力を写真で表現していただき、その魅力を泉佐野市外へのPRや写真、芸術文化の発展と向上を目的として、第1回泉佐野フォトコンテストを令和6年（2024）開催しました。1月19日から28日までの期間作品を募集し、93点の作品が出品され、2月23日～25日の期間展示をいたしました。展示前には審査会を行い、出品作品の中から、市長賞・教育長賞・観光協会会長賞を各1点、優秀賞を17点選考し、入賞者を表彰いたしました。

生涯学習・スポーツ2 生涯スポーツの振興

179. 新町^{しんまち}テニスコート

令和4年（2022）2月にオープンした新町^{しんまち}テニスコートは、砂入り人工芝コートが4面あり、付帯施設として夜間照明のほかシャワー設備もご利用いただけます。
また、38台の無料駐車場を備えています。
なお、硬式テニス・ソフトテニス以外の種目はご利用いただけません。

180. 泉佐野市スポーツ大使 サッカー 一森^{いちもり}純^{じゅん}選手

本市出身でガンバ大阪所属の一森^{いちもり}純^{じゅん}選手に、「泉佐野市スポーツ大使」に就任していただきました。本市では、バレーボール元日本代表で、アテネオリンピックに出場された大山加奈^{おおやまかな}さんに、スポーツ大使を委嘱して以来、二人目となりますが、泉佐野市出身の現役アスリートのスポーツ大使は、一森^{いちもり}純選手が初めてとなります。

生涯学習・スポーツ3 新たな文化創造・文化活動の推進

181. 泉佐野市文化祭

毎年、9月から11月までの期間、泉佐野市文化祭を開催しています。

文化祭には、7つの部門で出品いただいた美術作品を展示する「市民展」と、文化活動団体による発表会や展示会などの「協賛事業」の二つの事業があります。

令和5年度（2023）の「市民展」（10月27日～29日）の入場者数は2,272人、「協賛事業」は9事業が開催されました。

生涯学習・スポーツ4 青少年の健全育成

182. 泉佐野市青年団協議会

泉佐野市青年団協議会は、昭和28年（1953）に結成され、昨年度で70周年を迎えました。「郷土を愛する心と、仲間とのであい・ふれあい・わかちあい」の精神を根底に置き、青年が主体となって「人権を考える青年のつどい」などの事業を行っています。また、「泉佐野郷土芸能の集い」「泉佐野市成人式」等でも協力し活動しています。

183. 市長と語る成年のつどい

本市では、20歳の若者たちを祝う成人式に先立ち、令和5年（2023）10月に「市長と語る成年のつどい」を開催しました。代表者11名が、市政についての質問・提言などの身近な話を交え、熱心に語り合いました。

また、令和4年（2022）年4月より成年年齢が引き下げられたことにより、名称も「新成人のつどい」から「成年のつどい」に変更となりました。

第4章 市民と協働し、すべてのひとが輝けるまちづくり（自律・協働・多様性）

第1節 地域共助・地域コミュニティ

地域共助・地域コミュニティ1 地域防災の推進

184. 消防団員の条例定数

泉佐野市消防団の条例定数は平成6年（1994）では130名でしたが、平成27年（2015）に女性分団を発足したことにより150名に増員しました。さらに平成30年（2018）に市役所分団を発足し、20名増員しました。現在の消防団員の条例定員は、170人です。

地域共助・地域コミュニティ 2 地域防犯対策等の充実

185. 町会・自治会

泉佐野市町会連合会には、83の町会・自治会が加盟しており、それぞれの地域に住む人々が主体となって、明るく住みよい豊かなまちづくりを目指しています。

町会・自治会では情報の伝達（広報配布・回覧・掲示板など）や親睦行事だけではなく、自主防災活動や防犯灯設置、交通安全、福祉活動、環境美化活動など、地域全体の住民の暮らしのための活動を行っています。

第2節 人権・多文化共生

186. 差別撤廃条例が施行された年

平成5年（1993）6月に、全国に先駆けて徳島県阿南市^{あなん}で「部落差別撤廃・人権擁護に関する条例」が制定され、全国的に条例制定の輪が広がっていきました。

本市では、平成5年（1993）12月1日に「泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例」が施行されました。

本条例が制定から約30年が経過することから、この間に生じた新たな人権問題や、人権三法（「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」）に表れている人権尊重の機運の高揚等を踏まえ、令和5年（2023）3月に本条例の改正を行っています。

187. 男女共同参画社会を推進するための計画

本市では、男女がお互いに人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にとらわれず個性や能力を発揮することができる社会（男女共同参画社会）の実現を目指しています。

平成24年（2012）4月に「第2次 いずみさの男女共同参画行動計画」（愛称：第2次人ひとプラン）を策定し、令和4年（2022）3月には「第3次泉佐野市男女共同参画推進計画」（愛称：第3次人ひとプラン）を策定しました。

188. 人権啓発リーフレット「人として生きる」シリーズ

本市では、様々な人権テーマを取り上げた啓発リーフレット「人として生きる」シリーズを年に2冊、発行しています。令和5年度（2023）には49号「差別や人権侵害のない国際人権都市・泉佐野市をめざして」、50号「改訂版 L G B T Q って知っていますか？」を発行し、通巻50号になりました。「人として生きる」はA5サイズ・6ページのリーフレットで、市民のみなさんに手に取ってもらいやすく、分かりやすい内容です。ただし、49号は「泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例」の一部改正の内容をより詳しくお知らせするため、A4サイズ・6ページのリーフレットで発行しています。市役所の窓口やイベントなどで配布しています。

189. 人権擁護委員

本市には、法務大臣より委嘱を受けた人権擁護委員が各中学校区に2名、市内に合計10名います。人権擁護委員は、人権に関する相談を受けています。定例の相談日は、毎月の第3月曜日（祝日の場合は第3火曜日）、午後1時30分～午後4時（受付時間は午後3時30分まで）、場所は泉佐野市役所の会議室になります。また、「憲法週間」「人権擁護委員の日」「人権週間」の期間には、特設の相談日を設けています。

190. 泉佐野市小中学生人権作品コンテスト

本市では、市内で学びまたは在住する小中学生が人権について意識を高め、人権が大切にされるまちづくりの主体者として成長していくことを目的として、「泉佐野市小中学生人権作品コンテスト」を実施しています。「作文」・「詩」・「読書感想文」・「書道」・「標語」・「ポスター」の全6部門で、各部門の最優秀賞・優秀賞の受賞者は、毎年12月に開催される「泉佐野市人権のつどい」で表彰されます。なお、令和5年度（2023）の「標語」部門の小学校最優秀賞は「違っていい 自分の個性 捨てないで」、中学校最優秀賞は「普通って 誰が決めるの 自分の色」でした。

第5章 すこやかで、ひとがつながり支え合うまちづくり（支え合い・福祉・健康）

第1節 地域福祉

191. 三世代同居等支援事業

こどもを安心して産み育てられ、高齢者等が安心して暮らせる住環境を創るために、市内で1年以上暮らす高齢者世帯と同居、もしくは3km以内または同一中学校区域内の場所で近居をする、18歳以下の子どもがいる、または夫婦のいずれもが40歳未満のこども・孫世帯に対して、10万円を限度額として転入転居費用の一部を助成しています。

192. 泉佐野市高齢者補聴器購入費助成事業

聴力機能の低下により日常生活に支障がある高齢者に対して、高齢者の円滑なコミュニケーションや認知症予防を図り、社会参加及び地域での交流を促進するために、令和6年（2024）4月から、5万円を上限額として補聴器の購入に要する費用の一部を助成する事業を行っております。

193. 泉佐野市徘徊高齢者等 SOS ネットワーク

徘徊のおそれのある認知症高齢者等が行方不明になった場合に近隣市町村と協力事業所に協力を依頼し、広域にわたり発見・保護につとめる仕組みです。登録すると行方不明時に連絡先が表示される「見守り QR コードシール」を10枚配布しています。ご心配な方は事前登録しておきましょう。

194. フードバンク泉佐野

社会的・経済的に困難を抱える子育て世帯等を支援し、日々の食品ロスを削減するため、フードバンク事業を実施しています。フードバンクでは、個人・企業の皆様から寄附いただいた食品等を支援が必要な世帯にお届けしています。

身近な窓口として、泉佐野市内のファミリーマート3店（高松東店・長滝店・日根野店）で、ファミマフードドライブに寄附された食品の受入を行っています。

195. 外国人食堂

日本で慣れない生活を送る外国人留学生の方などを対象に、無料で食事を振る舞う「外国人食堂」を開催しています。

外国人留学生同士が繋がる拠り所となることを目指し、日本文化を体験する交流イベント、日本語学習や市内事業所等との面接会等を開催しています。

第5章 第2節 高齢者福祉

196. 本市の介護サービス利用者数

本市の介護サービス利用者数は、令和5年（2023）1月現在で4,520人です。その内訳としては、施設サービス利用者数が551人、居住系サービス利用者数が198人、在宅サービス利用者数が3,771人となっています。

197. 介護保険事業計画について

介護保険事業計画は、介護保険法第117条（市町村介護保険事業計画）に基づき、国の基本指針に即して、3年を1期とする計画を策定することとなっています。

本市では、令和6年（2024）3月に泉佐野市第9期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画を策定しています。この計画は、介護保険事業におけるサービス見込量などを定める介護保険事業計画と、高齢者福祉に関する施策全般を定める高齢者福祉計画を一体的に策定したものとなっています。

198. 高齢者の運転免許証返納

高齢者による交通事故発生数の減少を目的として、運転免許証を返納した70歳以上の高齢者を対象に抽選で地域ポイント「さのぼ」を10万ポイント進呈する奨励事業を実施しています。平成29年度（2017）の事業開始（開始から平成31年度（2019）までは65歳以上が対象）から令和5年度（2023）末まで1,511人にポイントを進呈しました。なお、申請の方法・期間等については、広報いずみさのや市のホームページ等でお知らせしていますのでご確認ください。

第5章第3節 健康・医療

健康・医療1 疾病の予防

199. 高齢者インフルエンザ予防接種について

個人のインフルエンザの発症または重症化の防止を目的として、高齢者インフルエンザ予防接種を一部公費負担にて、ご希望の人には接種をしていただいています。実施期間は、毎年秋から冬にかけてです。対象者は、接種日当日65歳以上の人、接種日当日60歳から64歳の人で身体障害者手帳1級所持又は相当程度の人です。自己負担金は、1,000円です。市民税非課税世帯や生活保護受給世帯の人は、必要書類を持参していただくと自己負担金の免除を受けることができます。ただし、市民税非課税世帯の方は、接種前に免除券の発行が必要です。

200. 地域活動事業

健康増進を目的に2つのボランティア団体が活動しています。「いずみさのみんなの健康づくり応援団（通称：応援団さん）」は、オリジナルの紙芝居での啓発活動が名物です。「食生活改善推進協議会（通称：食改さん）」は、やさいバリバリ体操やフェルトおかずのお弁当詰めでの啓発活動が名物です。2つのボランティア団体は、健康都市連合日本支部大会への参加や健康フェスタ、各健診などで活躍されています。

201. 健康都市宣言

本市では、市の健康に関する取組みを推進するとともに、市民一人ひとりがお互いに支え合いながら生涯にわたる健康づくりに取り組むことにより、地域全体の健康増進を図るため、平成28年（2016）に「健康都市宣言」を、そして、平成29年（2017）9月7日にはWHO（世界保健機関）西太平洋地域事務局の呼びかけにより創設された「健康都市連合」に加盟いたしました。

こころやからだの「健康」はもとより、地域やまち全体の健康をめざし、皆様と共に考え、「健康都市」をめざしていきます。

また、「健康都市連合」とは、都市住民の健康を守り、増進することを目的とした国際的なネットワークです。令和4年（2022）には第18回健康都市連合日本支部大会を本市において「食べて 動いて しっかり笑おう」をテーマに、大阪の特色を生かした内容で開催することができました。

202. 母子健康手帳の交付について

母子健康手帳は、妊婦さんの健康管理やお子さんの成長・発達・予防接種の記録として大切なものです。医療機関で妊娠が分かったら、できるだけ早く妊娠の届け出を行ってください。交付は、地域包括支援センターで行っています。

また、本市では平成28年（2016）11月からスマホ等のアプリを使ったサービス「さのっ子ナビ」を開始し、妊娠週数や月齢にあわせたお役立ち情報の掲載や、泉佐野市からのお知らせやイベント情報の発信を行っています。

健康・医療 2 医療体制の充実

203. りんくう総合医療センターの国際診療科が対応している言語

国際診療科では、外国人が安心して医療を受けられるよう様々な業務を行っています。

無料の医療通訳サービスはその一つで、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語の4言語に対応しています。

令和5年度（2023）の国籍別通訳件数は、1位が中国で601件、2位がベトナムで305件、3位がペルーで99件、4位がブラジルで96件でした。外国人旅行客の増加に伴い、英語と中国語の件数が増加傾向にあります。

204. 泉州広域母子医療センターの役割

泉州広域母子医療センターは、りんくう総合医療センターの周産期センター、市立貝塚病院の婦人科医療センターで構成され、泉州地域の産婦人科医療を担う拠点病院として、一次から三次救急までの産婦人科救急など安全安心な分娩や手術を提供しています。

りんくう総合医療センターの産婦人科部長は漫画『コウノドリ』の主人公のモデルとなったことでも有名です。

205. 手術室増室および手術支援ロボット導入

りんくう総合医療センターでは、令和5年（2023）12月に『手術支援ロボット ダビンチ Xi』を設置しました。令和6年（2024）6月からは、血管カテーテル治療と外科的手術を同時に行うことが可能な『ハイブリッド手術室』が完成しました。

りんくう総合医療センターが手術支援ロボット ダビンチ Xi を使用して行う手術は、前立腺癌、腎臓癌、直腸癌、胃癌等に対する手術で、安全に実施し症例数も増加しているところです。

手術室はハイブリッド手術室を増設したことにより、全部で7室となり、今後も幅広い手術に対応してまいります。

第6章 安全でひとと環境にやさしいまちづくり（安全・防災・環境）

第1節 消防・防災

206. 洪水浸水想定区域図の更新

想定し得る最大規模降雨（概ね千年に1度以上の確率規模の降雨）により、市内を流れる河川が氾濫した場合として、平成31年（2019）3月に『佐野川』、令和2年（2020）10月に『見出川』及び『榎井川』の洪水浸水想定区域図が大阪府から公表されました。

第6章 第2節 環境衛生・環境保全

207. 熱中症特別警戒アラート

府内のすべての観測地点で過去に例のない危険な暑さとなり、暑さ指数（WBGT）が35に達すると予測され、熱中症による重大な健康被害が生じるおそれがある場合に備え、環境省は、「熱中症警戒アラート」を一段引き上げた「熱中症特別警戒アラート」の運用を令和6年（2024）4月から開始しています。

「熱中症特別警戒アラート」は、前日の午後2時頃に発表されます。本市では防災行政無線を通じて市民の皆様にお知らせします。

208. ため池を活用した太陽光発電事業

本市では、脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、令和5年（2023）6月より長滝の貝ノ池、植田池、穂波池、令和6年（2024）1月より日根野の郷之池、2月より鶴原の庄田池に民間事業者や土地改良区と連携した水上太陽光発電所を設置し、発電を開始しています。

発電した電気は全量、一般財団法人泉佐野電力に売電され、本市の公共施設や市内の民間需要家に電力を供給し、再生可能エネルギーの地産地消を行っています。

第7章 快適で住みやすいまちづくり（快適・憩い・生活基盤）

第1節 道路・交通

209. 市道の総延長

市道とは「道路法」に基づき、市議会の議決を経て、市長が道路の認定、区域の決定後、供用を開始した道路です。

一般の交通の用に供するため、不法占用の排除や私権の制限を行うことで通行の権利を守っています。

令和6年（2024）3月末現在 950 路線あり、市道の総延長は 277 キロメートルでした。この他、市道以外でも、市が管理している道路があります。

第7章 第2節 公園・緑地

210. 大井関公園

春になると、溪流美と無数のソメイヨシノで知られる大井関公園。公園の間を流れる榎井川のろじ溪谷は、大阪みどりの百選にも選ばれ、毎春恒例の大井関桜まつりの期間中は提灯や短冊で桜の木を装飾するほか、イベントも開催されています。

また、令和5年度（2023）中に公園の改修工事を行い、令和6年（2024）3月にリニューアルオープンしました。

211. マンデー末広公園整備事業

マンデー末広公園では平成30年度（2018）から大規模改修を開始し、令和5年度（2023）にすべての工事が完了しました。全長 642mのグラウンドを囲む遊歩道の整備や健康遊具の設置、りんくうアイスパークに続き市内で2番目となるインクルーシブ遊具やゴムチップ舗装がなされたちびっこ広場の設置等の整備が行われました。また、公園内にある3箇所のトイレもすべてリニューアルされました。

212. 棚田・ふるさと保全

「日根^ひ 荘^ね 大木^{しょうおおぎ}の農村景観」として、重要文化的景観に選定された大木地区^{おおぎ}は、市の山間部に位置し水資源に恵まれ、稲作を中心とした田園風景が広がっています。

また、地区内には、大小の棚田^{たなだ}が約 1.7ha にわたって形成されている場所もあり、地域ぐるみで里山^{のうこうかん}の風景を守る農空間の保全活動が現在も行われています。

213. 生産緑地

本市では、市街化区域内にある都市農地のうち、緑地機能や防災機能等の多面的な機能を有する 300 平方メートル以上の一団の農地を「生産緑地」として指定し、計画的に保全することにより良好な都市環境の形成を図っております。

令和5年度（2023）末時点において、563 地区、約 122 ヘクタールの都市農地を「生産緑地」に指定しております。

第7章 第3節 上下水道

214. 水道水

市内の池や川から取水して造った水道水を自己水と呼びます。本市では、稲倉池^{いなくら}と大池から農業用水の余剰分として取水するものも含めて、全配水量の 17.0 パーセントに当たります（令和6年（2024）3月31日現在）。残りの 83.0 パーセントは、大阪市を除く大阪府内 42 市町村で構成する「大阪広域水道企業団」で造られた水道水を購入しました。

215. 水道管の耐震化

本市では、水道経営の安定と中長期的な施設管路の耐震化や更新の両立を図るために、平成 31 年（2019）3 月に、「泉佐野市水道事業経営戦略」を策定しました。

今後の災害に備えて、効率的で耐震性の強い管網整備を進めていますが、水道管の総延長に対する耐震管の延長割合（耐震適合率）は 40.2 パーセント（令和6年（2024）3月末現在）であり、まだまだ十分であるとは言えません。

216. マンホールカード

本市で 2 種類目となるマンホールカードが誕生しました。公式キャラクター「イヌナキン」の分身「ゆるナキン」が中央でいいねサインを出し、その周囲に関西国際空港や犬鳴山温泉、りんくうタウンの観覧車を配したデザインとなっています。

マンホールカードは全国で 1002 種類 681 自治体・3 団体（令和6年（2024）4月現在）で発行されています。

217. 水道水のPR

本市の水道水の安全性やおいしさをPRするため、ボトル水を製造、本市が3つの日本遺産を有するまちであることから、ボトル水では『葛城修験』に関する写真を使用したデザインとなっています。市内のイベント等で配布しており、泉佐野市の水としての品質の証明をPRするため、令和4年（2022）から「モンドセレクション」に出品し、令和4年（2022）は『優秀品質金賞』、令和5年（2023）・6年（2024）は『優秀品質最高金賞』を受賞しました。

218. 給水車

令和6年（2024）3月末現在、本市では災害等で断水が発生した場合や他の自治体からの派遣要請があった際に対応できるように、平成30年度（2018）と令和2年度（2020）に加圧式給水車を配備しました。最大容量はそれぞれ3,000リットルと2,000リットルの水を積載できます。

219. 非常用備蓄水

令和6年（2024）元日に発生した能登半島地震により、約14万戸が断水し、北海道から九州までの全国の水道事業体が応急給水活動や応急復旧活動を行いました。大きな地震等の災害発生から応急給水活動の体制を整うまでの日数の目安は3日（大規模災害発生時には、1週間分の備蓄が望ましい）とされています。また、生命を維持するのに最低限必要な水に3リットル必要とされています。これにより災害に備え、9リットル×家族の人数分の備蓄水が必要とされています。

220. 水道の老朽管

現在本市では、法定耐用年数40年を超過している老朽管は、水道管の総延長の内、約26パーセントに当たる約122キロメートルとなっています。このような老朽管は、毎年平均6キロメートルの目標を目指して更新工事を施工しています。施工は基本的に布設年度が古く耐震性を有していない管路の中から、特に直近に漏水事故が発生した管路、災害時の避難場所へ配水している管路等を優先的に選出し更新工事を実施しています。

第7章 第4節 住宅

221. 市営団地住宅のエレベータの数（令和6年3月31日現在）

市営団地住宅のエレベータは、市営鶴原団地住宅に4基、市営下瓦屋団地住宅に1基、市営末広団地住宅に3基、市営松原団地住宅に6基、市営上田ヶ丘団地住宅に1基の計15基あります。

222. 市営団地住宅の入居人数と、世帯数（令和6年3月31日現在）

現在の市営団地住宅に住んでいる入居人数は1,177人、世帯数は637世帯になります。

223. 耐震改修促進計画

本市では、住宅の耐震化を促進するため、「泉佐野市耐震改修促進計画」に基づき、昭和56年（1981）5月以前に建築された木造住宅を対象として、住宅の耐震診断費に対する一部補助、住宅の耐震補強設計費や耐震改修費に対する一部補助を実施しています。

第7章 第5節 市街地整備

224. 都市景観の重点地区

本市では、関西国際空港の玄関都市として、空港から眺望できるりんくうタウンエリアを、重点地区として指定し、特に都市景観形成の適切な誘導や保全に努めています。

225. 宅地造成等工事規制区域

令和6年（2024）4月1日より泉佐野市内全域が宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく「宅地造成等工事規制区域」として指定され運用が開始されました。これにより、宅地、農地、森林等の土地の用途にかかわらず、盛土等により人家等に被害を及ぼしうる区域を規制区域として指定し、土捨て行為や土石の一時的な堆積についても規制の対象となりました。

226. 泉佐野市立自転車等駐車場

泉佐野市立自転車等駐車場は、泉佐野市内の南海電鉄・JR西日本の駅前に9ヶ所（鶴原・鶴原第2・井原里・井原里第2・泉佐野北・泉佐野南・りんくう・日根野・東佐野）設置されています（令和6年（2024）6月現在）。

利用できる車両は、自転車及び原動機付自転車・自動二輪車（排気量125cc以下で側車付でないもの）です。

自転車等を駅前に放置することは、都市環境の悪化や交通の妨げになるだけでなく、災害等緊急時の活動を阻害します。駅を利用する際には、駅前に自転車等を放置しないで、自転車等駐車場をご利用ください。

第8章 総合計画の実現に向けて

第1節 挑戦的な自治体経営—魅力的なシティプロモーション

227. 第5次泉佐野市総合計画

平成31年（2019）3月議会において、「第5次泉佐野市総合計画基本構想（案）」が可決されました。

この基本構想では、『世界に羽ばたく国際都市 泉佐野 —ひとを支え ひとを創り 賑わいを創る—』を将来像とし、関西国際空港の玄関都市として「国際化」を中心に踏まえ、本市の強みや特性を更に発展させ、持続可能なまちづくりを推進することとしています。

228. 株式会社モンベルとの包括連携協定について

本市は令和4年（2022）2月14日に株式会社モンベルと包括連携協定を締結しました。これは、緊密な相互連携のもとアウトドア活動等の促進を通じて、市内地域の活性化と市民生活の質の向上を目的としたものです。

また、令和4年（2022）7月1日には「モンベルフレンドエリア」にも登録し、約106万人のモンベルクラブ会員に向けて地域の特産品や観光情報を発信するなど、同社との連携はシティプロモーションにも大きく寄与しています。

第8章 第2節 財政基盤の確立

229. 指定管理者制度導入状況

本市では、平成18年度（2006）から指定管理者制度を導入しています。令和6年（2024）4月1日現在で、市立北部市民交流センターほか市長部局所管施設27施設及び各小中学校プールほか教育委員会施設20施設の合計47施設にこの制度を導入しています。令和5年（2023）7月1日から、長南小学校プールの1施設が新たに指定管理施設となりました。

230. 財政力指数

令和4年度（2022）決算における、本市の財政力指数（自治体の財政上の裕福さを示す指数）は、0.9でした。また、大阪府内の市町村（大阪市・堺市を除く）41団体の平均は、0.75で、本市は府内第6位と比較的高い状況となっています。この指標が1.0を超えると普通交付税の不交付団体となり、数値が高いほど国からの地方交付税に依存しない一般的に裕福な団体と言われています。

231. 目的税の税収額

市税には普通税と目的税があり、目的税は、納められた税金を特定の目的又は事業に要する経費に充てなければならない税です。

都市計画税は、毎年1月1日現在において、市内の市街化区域に土地、家屋を所有している人に課される税です。道路・公園・下水道整備などの都市計画事業や土地区画整理事業に要する費用に充てられています。

入湯税は、鉱泉浴場の入湯客に課される税です。環境衛生施設や消防施設の整備、観光の振興などに要する費用に充てられています。

令和4年度（2022）決算では、目的税は約15億円で、内訳は、都市計画税が約15億円、入湯税が約1,000万円でした。

232. 泉佐野市における土地の地目別課税面積割合

固定資産税は、毎年1月1日現在の土地、家屋又は償却資産（これらを「固定資産」といいます。）の所有者に対し課される税金で、令和4年度（2022）決算において泉佐野市の市税のうち52%を占めています。

「固定資産」のうち土地に対する税金は、現況によって概ね「宅地」、「雑種地」、「農地」、「山林」に地目別に分けられ課税されます。

泉佐野市における地目別課税面積割合は、令和4年度（2022）において、割合の大きいものから「宅地」は41%、「農地」は22%、「雑種地」は19%、「山林」は18%となっています。

この割合は「宅地」から「山林」まで存在する、泉佐野市の特徴を表わすものとなっています。

233. 大阪府域地方税徴収機構

平成27年（2015）4月、大阪府と本市を含む府内25市2町が連携し、個人住民税をはじめとした地方税の滞納整理を推進するとともに、参加市町の税務職員の徴収技術の向上を図ることを目的に「大阪府域地方税徴収機構」が設置されました。

令和5年度（2023）は、昨年に引き続き27市8町1村が参加し、14億8,977万円の滞納税を引き継ぎました。預貯金や生命保険、給与などの債権を差押えしたり、滞納している人が所有する不動産を差押えし売却（公売）するなどして、11億853万円を徴収しました。

234. 市税の納付方法

市税の納付方法には、取扱い可能な金融機関窓口で納付いただく方法、コンビニエンスストアで納付いただく方法、納付期日に指定口座から振り替えて納付いただく方法（口座振替）以外に、スマートフォンから PayPay、LINEPay、PayB、FamiPay、au PAY の請求書払いでも納付いただけます。

令和5年度（2023）から全国一斉に地方税統一 QR コードによる納付ができるようになりました。二次元コード（eL-QR 及び eL 番号）が記載された納付書は、全国の地方税統一 QR コード対応金融機関で納付できる他、eL-QR 対応スマートフォン決済アプリで納付いただけます。

また、インターネットで地方税お支払サイトにアクセスし、eL-QR を読み込むか、eL 番号を入力してインターネットバンキングでの納付や、クレジットカードによる納付手続きができます。

なお、令和5年度（2023）の納付方法別割合は、金融機関窓口：52.84%、コンビニエンスストア：21.4%、口座振替：11.44%、地方税ポータルサイト（eLTAX）・地方税お支払サイト（eL-QR）：4.22%、スマートフォン決済アプリ：4.20%でした。

235. 市税の納期限

市税には、固定資産税、都市計画税、市・府民税、軽自動車税、法人市民税などがあり、市・府民税はさらに特別徴収分と普通徴収分に分けられます。また、都市計画税は固定資産税といっしょに徴収されます。

これらの市税は、泉佐野市市税条例により納期が定められています。固定資産税・都市計画税の納期は4期に分けられ、第1期は5月1日から31日まで、第2期は7月1日から31日まで、第3期は9月1日から30日まで、第4期は12月1日から25日までです。

市・府民税の納期も4期に分けられ、第1期は6月1日から30日まで、第2期は8月1日から31日まで、第3期は10月1日から31日まで、第4期は12月1日から25日までです。軽自動車税の納期限は5月31日と定められています。

236. 企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）

「企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）」は、国に認定された計画に基づく市の事業に対して企業が寄附を行った場合、寄附額の最大約9割が企業の支払う税から軽減される制度です。泉佐野市では国に認定された地域再生計画として「泉佐野市まち・ひと・しごと創生推進計画」を掲げており、新たに令和4年度（2022）から、全国のこども食堂を支援する「泉佐野産等の普及促進を通じた子どもの未来応援プロジェクト」を対象事業として、寄附募集を開始しました。令和5年度（2023）は、71社から合計1億215万3,388円を頂戴し、社会課題の解決に努めています。

237. #ふるさと納税 3.0

#ふるさと納税 3.0 は、令和2年度（2020）からスタートした、商品開発・販路拡大等を目的とした補助金制度です。泉佐野市でふるさと納税の返礼品の製造・加工・開発に取り組む事業者に対し、設備投資費用の全額が賄える補助金を交付できる制度となっており、令和5年度（2023）では、29件のプロジェクトを実施、約48.4億円の寄附を集め、事業者へ約14.4億円の交付を予定しています。

238. ふるさと納税（市内の小学生考案の返礼品）

令和5年度（2023）、泉佐野市立第三小学校の5年生は、「総合的な学習の時間」の一環として『泉佐野市のふるさと納税を盛り上げるためのオリジナル返礼品』を考案し、市長をはじめとする市の関係者へ提案を行いました。市はそのアイデアをもとに各事業者と協議と試作を重ね、「地酒の泉州タオル巻き」と「泉州焼き 泉州ブルーのカップ＆ソーサー」が実際に返礼品化されました。

239. ふるさと納税（令和5年度ふるさと応援寄附額と使途）

令和5年度（2023）の泉佐野市ふるさと応援寄附金額は175億円にのぼり、3年連続で100億円を超える額となりました。現在、寄附金の使途には、24個のプロジェクト（市長におまかせ・その他プロジェクトを除く）があります。泉佐野市を応援してくださる皆様からいただいた寄附金は、各基金へ積み立てを行い、寄附財源を予算化、寄附をしていただいた方のご希望に沿ったプロジェクトの財源として有効に活用されます。

第8章 第3節 その他

240. まち・ひと・しごと創生総合戦略

人口減少と少子高齢化は、今後の我が国の大きな課題です。

これらがこのまま進展すると、経済成長が停滞し社会保障制度などが維持できなくなります。

この状況を打開し好循環の流れを作り出すため、国では平成26年（2014）に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、それに基づく「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。

本市でも、様々な分野の20人の委員による「泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」を設置し、平成27年（2015）10月に「泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。また令和2年度（2020）にはその改訂作業に取り組み、令和3年（2021）3月に「第2期泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

241. 泉佐野市住民登録外国人国籍別・地域別人口上位5か国

令和6年(2024)6月末現在、本市に住民登録している外国人は、54か国の3,197人で、昨年より約700人増加しました。

国籍別住民登録者数上位5か国では、1位が中国で881人、2位がベトナムで600人、3位が韓国で378人、4位がネパールで285人、5位がフィリピンで235人となっています。

242. 住居表示実施

令和4年(2022)1月に25年7か月ぶりの住居表示を、市場東一丁目、二丁目、三丁目において実施しましたが、令和4年(2022)6月に岡本一丁目、二丁目、三丁目、四丁目及び五丁目を町名変更し、岡本一丁目、二丁目、三丁目及び四丁目を住居表示の実施をしました。

住居表示を実施することにより、住居等の所在場所が簡単に特定できるので、地番を使った住所地に比べて郵便物の配達しやすい等のメリットがあります。

243. 市役所本庁舎前の庭園

市役所本庁舎前の庭園の名称は「市民プラザ」で、クロマツやイチョウを含め、約35本もの樹木が植えられており、石灯籠^{いしどうろう}が2基設置されているなど、日本庭園の仕様となっています。

244. 市長・副市長が主に使用している公用車

市長や副市長が主に使用している公用車には、ガソリンと電気で駆動するハイブリット車と燃料電池自動車があります。市内などを走行するときには他の公用車と同様に、有料広告マグネットシートを装着しています。また、燃料電池自動車は、充填した水素ガスを化学反応させたときに発生する電気で駆動する自動車で、走行しても化学反応でできた水が排出されるだけで、Co2排気ガスを一切排出しない、脱炭素を実現した環境に大変やさしい車両です。

245. 泉佐野市の入札参加登録申請の登録業者数

泉佐野市の入札参加登録申請の登録業者は、建設工事・測量・建設コンサルタント等・物品供給等・役務提供等の4部門に分かれています。令和6年(2024)4月1日現在の登録業者数は、それぞれ建設工事等が914者、測量・建設コンサルタント等が556者、物品供給等が863者、役務提供等が1,210者となっています。

246. ラスパイレス指数

ラスパイレス指数とは、地方公務員の給与額を、同等の職種、経歴に相当する国家公務員の給与額を 100 として比較した数値です。

令和 5 年度（2023）の本市のラスパイレス指数は 94. 8 で、大阪府内の 31 市では下から 2 番目でした。

247. 職員の国際交流派遣

本市では、友好都市へ職員を研修生として派遣する国際交流事業を行っており、令和 5 年度（2023）は、韓国大邱（テグ）市へ、令和 6 年度（2024）はベトナム・ビンディン省へ派遣しています。

248. 被災地への支援派遣

本市では、大規模災害が発生した自治体への支援として被災地への職員派遣を行っており、令和 6 年（2024）6 月 1 日からは、石川県輪島市^{わじま}へ職員の派遣を行いました。

249. ポスター掲示場

本市選挙管理委員会では、選挙時において、公職選挙法および条例等に基づき、ポスター掲示場を設置しています。令和 4 年（2022）7 月の参議院議員通常選挙および令和 5 年（2023）4 月の大阪府知事選挙において泉佐野市内に設置したポスター掲示場の数は、232 箇所です。

250. 若者の投票率

全国的に若者の投票率が低くなっており、「仕事があったから」や「選挙にあまり関心がない」などが理由に挙げられます。なお、令和 5 年（2023）4 月に行われた大阪府知事選挙において、泉佐野市内で最も投票率が高い年代は 60 代、投票率は 49.57%でした。最も投票率が低い年代は 20 代、投票率は 17.64%でした。ちなみに、10 代（18 歳・19 歳）の投票率は 24.91%でした。

251. 有効投票と無効投票

令和 5 年（2023）4 月に行われた大阪府知事選挙において、泉佐野市内の投票総数は 30,153 票で、そのうち有効投票は 29,865 票、無効投票は 288 票でした。無効投票の内訳として、2 人以上の候補者氏名の記載、候補者でない者等の氏名の記載、雑事の記載、記号・符号の記載、白紙投票などがあり、一番多かった無効投票は、「白紙投票」でした。

252. 市民課窓口でのパスポートの申請件数

パスポートの申請件数は、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少していましたが、感染症法上の位置付けが 5 類感染症に移行したことや入国制限措置の緩和などで、海外への渡航も増加しており、令和 4 年度（2022）の申請件数は 1,238 件、令和 5 年度（2023）は 2,792 件とコロナ禍以前の申請件数まで戻りつつあります。

253. 泉佐野市消費生活センター

泉佐野市消費生活センターは、南海泉佐野駅前であり、市民の方々が生活されている中で起こる様々な消費者問題に対する相談を消費生活相談員が受け、問題解決へのお手伝いをしています。

また、相談の受付以外にも、消費者問題についての出前講座や、消費者庁から消費者教育推進大使に委嘱されている市公式キャラクター「イヌナキン」を活用した様々な啓発活動を実施しています。

254. 消費者相談

令和 5 年度（2023）に泉佐野市消費生活センターで受けた相談総数は 945 件で、そのうち、最も相談の多かった購入形態は通信販売、2 番目は店舗購入、3 番目は訪問販売でした。

また、商品・役務別にみると、化粧品や健康食品などの保健衛生品がもっとも多く、日常的に使う製品においてトラブルが多く起きていることが分かります。

255. 申請・手続き情報を集約した特設サイトの開設

市民のみなさんにとって必要な手続きがすぐに見つかるよう、泉佐野市のホームページ内の申請・手続き情報を集約した特設サイト「泉佐野市手続き検索サイト」を令和 5 年度（2023）に開設しました。令和 6 年（2024）7 月現在で同サイトに掲載されている手続きは 731 件あります（この件数はあくまでも手続き検索サイト上に公開されている手続き数であり、泉佐野市にある全ての手続きではありません。）。

256. 国民健康保険被保険者数の人口に対する割合

令和 6 年（2024）3 月 31 日現在の本市国民健康保険被保険者は 17,959 人となっており、人口の 18.1 パーセントが国民健康保険に加入しています。前年同時期では 18,913 人、前々年同時期では 19,877 人と、国民健康保険被保険者数は減少傾向にあります。

257. 高齢者の保険事業と介護予防の一体的実施

75歳以上の方が加入する後期高齢者医療制度の保健事業では、加入以前の健康診査結果データが引き継がないことによる保健事業の中断や、高齢者のフレイル状態が課題とされていたことから、本市では大阪府後期高齢者医療広域連合の委託を受け、令和5年度（2023）から本事業を実施しています。

医療や介護のデータ分析を行い、地域の健康課題を把握したうえで、ハイリスクアプローチとして、健康診査の受診がなく、医療機関受診や介護保険の利用もない「健康状態不明者」や、BMI20.0以下で、前年度より体重が2kg以上減少している「低栄養者」を対象に、保健師や管理栄養士が面談を行い、保健指導を実施するとともに、必要な場合は地域包括支援センターと連携しています。

また、ポピュレーションアプローチとして、介護予防事業での通いの場において、栄養や口腔に関する健康講話を行っています。

258. マイナの保険証

本市では、例年、有効期限が翌年10月末までの健康保険証を10月に加入者に発送していましたが、マイナンバーカードと健康保険証の一体化により、令和6年（2024）12月2日から健康保険証の新規発行が廃止されます。令和6年度（2024）は、令和6年（2024）10月に、有効期限が令和7年（2025）10月末までの健康保険証を加入者全員に送付します。その期間はマイナ保険証と、従来の健康保険証が併用されることとなります。令和7年（2025）11月以降は従来の健康保険証の発行はないため、マイナンバーカードを利用したマイナ保険証が基本となりますが、マイナ保険証を利用することができない方は資格確認書という健康保険証の代わりになるカードで医療機関を受診することができます。

259. 議員定数

市町村議会の議員の定数は、地方自治法第91条第1項で、条例で定めることと規定されています。本市では、「泉佐野市議会議員定数条例」において、議員定数を18人としています。

260. 議会広報

市議会では、定例会や臨時会における委員会の内容や議案の採決結果のほか、議会の活動などを掲載する「いずみさの市議会だより」を発行しています。

また、平成23年（2011）第4回（12月）定例会より、インターネットを利用して、本会議の録画映像配信を、平成24年（2012）第1回（5月）臨時会からはライブ映像配信を開始し、平成29年（2017）第4回（12月）定例会からは委員会の映像も配信しています。

なお、ライブ映像及び録画映像とも市議会のホームページから見ることができます。

261. 市議会の特別委員会

「泉佐野市議会委員会条例」第4条に基づき、市議会には、特別委員会を設置しています。特別委員会は、必要がある場合に議会の議決で置く、と規定されており、関西国際空港及びりんくうタウンにかかる諸問題、課題などについて審査、検討するため、関空りんくうまちづくり特別委員会が設置されています。

262. 議員の任期

普通地方公共団体の議員の任期は、地方自治法第93条第1項により4年と定められています。泉佐野市議会は昭和23年（1948）4月1日の市制施行から数えて現在20期目であり、泉佐野市議会議員（20期）の任期は令和4年（2022）5月24日～令和8年（2026）5月23日までとなっています。次回は令和8年（2026）5月頃に議員選挙が行われる予定です。

令和6年度
第12回 いずみさの検定 テキスト

令和6年（2024） 8月30日 発行

編集・発行／いずみさの検定実行委員会
〒598-0056 泉佐野市元町 4-5 旧朝日湯内
泉佐野市教育委員会 文化財保護課